

## 2019年度 シラバス

授 業 科 目		衛生管理		学科・学年	理容科 1年	
開 講 期		通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要		理・美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を、公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術(消毒法)に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		1. 理・美容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義と理・美容業との関わりを認識する。 3. 理・美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物(ノート, 小テスト)を評価する。 期末試験50%,授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	公衆衛生の概要 ( 1 )	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史			
2	2	公衆衛生の概要 ( 2 )	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業			
3	2	保 健 ( 1 )	母子保健			
4	2	保 健 ( 2 )	成人・高齢者保健①			
5	2	保 健 ( 3 )	成人・高齢者保健②			
6	2	保 健 ( 4 )	成人・高齢者保健③ 精神保健 問題			
7	2	環 境 衛 生 ( 1 )	環境衛生の概要			
8	2	環 境 衛 生 ( 2 )	空気環境			
9	2	環 境 衛 生 ( 3 )	衣服・住居の衛生			
10	2	環 境 衛 生 ( 4 )	上・下水道と廃棄物 問題			
11	2	環 境 衛 生 ( 5 )	衛生害虫とネズミ 環境保全			
12	2	感染症の総論(1)	感染症発見の歴史 感染症と法律			
13	2	感染症の総論(2)	感染症の分類 問題			
14	2	感染症の総論(3)	病原微生物 ①			
15	2	感染症の総論(4)	病原微生物 ② 問題			
16	2	感染症の総論(5)	感染症の予防 ①			

17	2	感染症の総論(6)	感染症の予防 ②
18	2	感染症の総論(7)	感染症の予防 ③ 問題
19	2	感染症の各論(1)	主な感染症 ①
20	2	感染症の各論(2)	主な感染症 ②
21	2	感染症の各論(3)	主な感染症 ③ 問題
22	2	まとめと復習	まとめと復習
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

2019年度

授 業 科 目		保健		学科・学年	理容科 1年	
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要		”美”の源泉である”健康”を保つために、理・美容師として必要な知識である”人体の構造と機能”を理解する。				
教 育 目 標 (ねらい)		1. 美容師国家試験合格のための知識習得 2. 人体の構造、機能について頭頸部を中心に解剖学を学び、理解する。 3. 皮膚とその付属器官について詳細を学ぶ。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物(ノート、小テスト)を評価する。 期末考査50%、出席状況と授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学(1)	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学①			
2	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学(2)	頭部、顔部、頸部の体表解剖学②			
3	2	骨 格 器 系	骨の種類と構造 骨の連結とそのはたらき			
4	2	筋 系 ( 1 )	筋の種類とその特徴 主な骨格筋とそのはたらき			
5	2	筋 系 ( 2 )	表情筋と表情運動			
6	2	神 経 系	神経の成り立ち 中枢神経と末梢神経			
7	2	感 覚 器 系 ( 1 )	視覚 聴覚			
8	2	感 覚 器 系 ( 2 )	平衡感覚 味覚 嗅覚 皮膚感覚			
9	2	血液、循環器系(1)	血液のあらまし 血液循環			
10	2	血液、循環器系(2)	心臓と血管のはたらき リンパ管系の仕組みとはたらき			
11	2	ま と め と 復 習	2年生前期のまとめと復習			
12	2	呼 吸 器 系	気道 肺の仕組みとガス交換 呼吸運動			
13	2	消 化 器 系	消化管の仕組みとはたらき 消化と物質代謝			
14	2	皮 膚 の 構 造 ( 1 )	皮膚の表面と断面 表皮 真皮			
15	2	皮 膚 の 構 造 ( 2 )	皮下組織 皮膚の部位差			
16	2	皮膚付属器官の構造 ( 1 )	毛			

17	2	皮膚付属器官の構造 ( 2 )	脂腺 汗腺 爪
18	2	皮膚の循環器と神経系	皮膚の血管、リンパ管、神経
19	2	皮膚と皮膚付属器官の 生理機能(1)	対外保護作用 体温調節作用
20	2	皮膚と皮膚付属器官の 生理機能(2)	知覚作用と皮膚反射 分泌排泄作用
21	2	皮膚と皮膚付属器官の 生理機能(3)	呼吸、吸収、貯蔵作用 免疫、解毒、排除作用
22	2	まとめと復習	2年生後期のまとめと復習
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

## 2019年度 シラバス

授 業 科 目	化粧品化学			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要	理容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め理容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物(小テスト)を評価する。 期末考査50%、授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	化粧品概論(1)	社会的意義と品質特性 化粧品の規制		
2	2	化粧品概論(2)	化粧品の安定性と取り扱い上の注意 化粧品と安全性		
3	2	化粧品原料(1)	化粧品の対象となる人体各部の性状		
4	2	化粧品原料(2)	水性原料①		
5	2	化粧品原料(3)	水性原料②		
6	2	化粧品原料(4)	油性原料		
7	2	化粧品原料(5)	界面活性剤①		
8	2	化粧品原料(6)	界面活性剤②		
9	2	化粧品原料(7)	高分子化合物		
10	2	化粧品原料(8)	色材①		
11	2	化粧品原料(9)	色材②		
12	2	化粧品原料(10)	香料		
13	2	化粧品原料(11)	その他の配合成分		
14	2	化粧品原料(12)	ネイル、まつ毛エクステンション用材		
15	2	まとめと復習			
16	1	期 末 考 査	後期1時間		

2019年度

授 業 科 目		文化論			学科・学年	理容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	加藤 順子
授 業 の 概 要		理容師として必要な西洋と日本の理容業・美容業の歴史を文化的な視点から学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)		理容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する				
評 価 方 法		毎回単元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をし、期末考査50%、プリント達成度30%、授業の関心度20%とし、総合計60%以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	総 論	総論			
2	2	日本の理容業・美容業の歴史	理容業・美容業の発生			
3	2	日本の理容業・美容業の歴史	江戸時代の理容業・美容業			
4	2	日本の理容業・美容業の歴史	近代の理容業・美容業			
5	2	日本の理容業・美容業の歴史	近代の理容業・美容業			
6	2	ファッション文化史 日 本 編	縄文・弥生・古墳時代			
7	2	ファッション文化史 日 本 編	古代(飛鳥・奈良・平安時代)			
8	2	ファッション文化史 日 本 編	中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)			
9	2	ファッション文化史 日 本 編	近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)			
10	2	ファッション文化史 日 本 編	近世Ⅱ(江戸時代)			
11	2	ファッション文化史 日 本 編	近代(明治・大正・昭和20年まで)			
12	2	ファッション文化史 日 本 編	現代Ⅰ(1945年～1950年まで)			
13	2	ファッション文化史 日 本 編	現代Ⅱ(1960年～1970年まで)			
14	2	ファッション文化史 日 本 編	現代Ⅲ(1980年代～1990年まで)			
15	2	ファッション文化史 日 本 編	現代Ⅳ(2000年以降)			
16	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間			

2019年度

授 業 科 目		理容理論			学科・学年	理 容 科 1 年
開 講 期		通年	単位数	2.5	担当者名	後藤和幸
授 業 の 概 要		理容の意義を十分に理解し、理容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 ( ね ら い )		理容師に必要な理論と国家試験に必要な理論を身につける。 国家試験合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法		期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	理容技術を学ぶにあたって	理容技術理論を学ぶにあたって			
2	2	理容技術の基礎	姿勢・トレーニング			
3	2	理 容 用 具	理容と用具・理容用具と衛生			
4	2	理 容 用 具	理容刃物・シザーズ			
5	2	理 容 用 具	レザー・クリッパー			
6	2	理 容 用 具	コーム・ブラシ			
7	2	理 容 用 具	ヘアアイロン・ヘアドライヤー			
8	2	ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザイン			
9	2	ヘアデザイン	ヘアスタイル			
10	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングを学ぶにあたって、観測法			
11	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基本原則			
12	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの一般的手順			
13	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要①			
14	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要②			
15	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの用具の持ち方と操作			
16	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法①			
17	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法②			
18	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのスタイル別カットシステム①			
19	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのスタイル別カットシステム②			
20	2	ヘアカッティング	デザインヘア			
21	2	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム①			
22	2	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム②			
23	2	ヘアカッティング	デザインヘアカットの一例			
24	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングを学ぶにあたって			種類
25	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングの実際			
26	2	ヘアセッティング	レディースヘアのスタイリング			
27	2	パーマメントセット	パーマメントウエービング		ワインディング①	
28	2	パーマメントセット	ワインディング②			
29	2	パーマメントセット	コールドニ浴式パーマメントウエーブの一例			
30	2	パーマメントセット	アイアニング①			
31	2	パーマメントセット	アイアニング②		形状記憶デジタルパーマ	
32	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの歴史		色彩の原理	

33	2	ヘアカラーリング	染毛剤の種類と原理
34	2	ヘアカラーリング	染毛剤の安全性と取扱い上の注意
35	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング技術のプロセス
36	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの一例
37	2	ま と め	テキスト I の復習・テスト①
38	2	ま と め	テキスト I の復習・テスト②



2019年度

授 業 科 目		運営管理			学科・学年	理容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要		理容業・美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。				
教育目標 (ねらい)		理容師・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度を評価す 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	経 営 者 の 視 点	経営とは・経営者とは			
2	2	理 容 業 美 容 業 の 経 営 に つ い て				
3	2	資 金 の 管 理				
4	2	人 という 資 源	人という資源とは、人の能力を高める 人をやる気にさせるために			
5	2	〃	給与、待遇福利厚生			
6	2	〃	労働者の権利			
7	2	健 康 ・ 安 全 な 職 場 環 境 の 実 現	健康管理の基礎 理容・美容の仕事と健康			
8	2	〃	理容業・美容業に特徴的な健康課題 理容・美容の作業環境に関する健康問題			
9	2	従 業 員 と し て の 視 点 か ら	従業員としての責任 社会保険(1)			
10	2	〃	キャリアプランの重要性			
11	2	〃	サービスデザイン			
12	2	顧 客 の た め に	マーケティング			
13	2	ま と め と 復 習				
14	2	ま と め と 復 習				
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間			

2019年度

授 業 科 目	理容実習			学科・学年	理容科	1年
開 講 期	通年	単位数	15	担当者名	後藤和幸	
授 業 の 概 要	理容の基礎的技術を実習で学び、美や造形感覚も養う。					
教 育 目 標 ( ね ら い )	理容師に必要な技術を身につける。国家試験に合格レベルの実技課題を身につける。					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
月	シャンプー	カット	シェービング 及び顔面処 置	ワインディ ング	その他	備考
4		○		○		
5	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	理容マッサージ
7	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
8	○	○	○	○		
9	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
10	○	○	○	○	○	理容マッサージ
11	○	○	○	○	○	ヘアセットイング 理容マッサージ
12	○	○	○	○	○	理容マッサージ
1	○	○	○	○	○	ハンドケア 理容マッサージ
2	○	○	○	○	○	ヘアセットイング 理容マッサージ
3		○	○			
合計時数	90	90	80	130	60	

2019年度

授 業 科 目	一般教養	デッサン	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	大塚 敬
授 業 の 概 要	主に人物をモチーフにし、デッサンする能力を身に付けさせる				
教 育 目 標 (ねらい)	1.観察する能力、描く能力を身につける。 2.イメージする能力と自身の感性の幅を広げ、磨くことを通してデッサンの基礎を身につける。 3.理容師、美容師の専門的実技とデザインとの関連性への理解を深める				
評 価 方 法	授業への関心態度、作品の内容、提出物(クロッキー帳、小テスト)を評価する 授業への関心態度、50% 作品の内容30%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	デ ッ サ ン (1)	デッサンについて 鉛筆での表現、基礎		
2	3	デ ッ サ ン (2)	人物を描く	今年度コンテスト作品	
			頭部、顔の各部の形状について		
3	3	デ ッ サ ン (3)	人物を描く		
			頭部、顔の各部の形状について		
4	3	デ ッ サ ン (4)	人物を描く		
			頭部、顔の各部の形状について		
5	3	デ ッ サ ン (5)	人物を描く		
			頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
6	3	デ ッ サ ン (6)	人物を描く		
			頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
7	3	デ ッ サ ン (7)	人物を描く		
			頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
8	3	デ ッ サ ン (8)	人物を描く		
			頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
9	3	デ ッ サ ン (9)	人物を描く		
			頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
10	3	デ ッ サ ン (10)	人物を描く		
			頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	パーソナルカラー	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	佐藤博美
授 業 の 概 要	理容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける				
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度40%、課題提出30%、試験30%とし、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の見える条件		
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度)		
3	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(彩度・清濁)		
4	3	基本の配色法	カラーコーディネート 基本の配色と感情効果		
5	3	パーソナルカラーの分類	パーソナルカラー・4シーズン分類 色彩調和		
6	3	基礎知識	試験による基礎知識の確認		
7	3	ま と め	パーソナルカラーのまとめ		
8	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法①		
9	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法②		
10	3	作 品 制 作	パーソナルカラーを基にした課題作成・提出		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	フラワーアレンジメント	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。				
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。				
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 每作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、平均点60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具の取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。		
2	3	実 技	②トライアングラー 花材説明(種類、産地、特徴)図解説明		
3	3	実 技	③ホリゾンタル ④母の日ラッピングアレンジ		
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展		
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。		
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。		
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク		
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ		
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。		
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	情報技術	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	加藤 麗子
授 業 の 概 要	社会人として必要なビジネス文書作成・計算・インターネットを活用するための基礎知識を習得する。				
教 育 目 標 (ねらい)	1. 文書(社内・社外)作成の意味を理解し作成できる。 2. 計算式の利用するための基礎知識と、興味を持ち活用できる。 3. 理容・美容の就業に着いた際の、予約管理システムの基礎を経験する。インターネットの利活用ができる。				
評 価 方 法	授業への関心態度、提出物(小テスト)を評価する。 提出物(小テスト)40%、授業への関心態度60%、 60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	W o r d 基 礎	Typing(ホームポジション)・ショートカットキー・ビジネス文書		
2	3	W o r d 基 礎 E x c e l 基 礎	Typing(ホームポジション)・ビジネス文書復習・Excel(演算式・関数)		
3	3	E x c e l 基 礎	Typing(ホームポジション)・Excel(復習・相対参照・絶対参照・複合参照)		
4	3	美容室予約システム・Excel 基礎	Typing(ホームポジション)・レコサロ予約システム管理画面設定・Excel(復習・関数)		
5	3	美容室予約システム・Excel 基礎	Typing(ホームポジション)・レコサロ予約システム管理画面設定・Excel(復習・関数)		
6	3	E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Excel(関数・シートの操作)		
7	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
8	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
9	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
10	3	総 括	Typing(ホームポジション)		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	ジェルネイル	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る		
2	3	フ ラ ッ ト ア ー ト	アクリル絵の具を用いてのアート		
3	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル		
4	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル		
5	3	エ ン ボ ス ア ー ト	エンボスアート		
6	3	3 D ア ー ト	動物製作		
7	3	3 D ア ー ト	グラデーション・フレンチ技術		
8	3	中 級 技 術	アート技術を組み合わせての作品製作		
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		
10	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		

2019年度

授 業 科 目	専門教育		カット I	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期		単位数	4	担当者名	早坂精徳・後藤和幸
授 業 の 概 要	学校の授業にある基本をベースに、少し応用を加えながらトレンドを意識したサロンスタイルを作り上げることで、理容の仕事の楽しさと可能性を感じてもらう。					
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カットによるスタイルの技能を身につける。</li> <li>・コーミングの大切さを身につける。</li> <li>・個性や感性を活かし、自由にスタイリングできる技術を身につける。</li> </ul>					
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価(バランス、課題の表現ができていないか等)50% 2、授業への取り組み評価(授業態度、取り組みの姿勢)50% 総合計60点以上で合格とする。					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	器具の使用法	器具の基本操作等。			
2	4	基本姿勢	カットにおける姿勢の大切さについて。実際。			
3	4	デザインヘア	カットの事前準備として、ブロッキング技術の実習。			
4	4	デザインヘア	ワンレングスカット①			
5	4	デザインヘア	ワンレングスカット②			
6	4	デザインヘア	ワンレングスカット③			
7	4	デザインヘア	インサイドグラデーション			
8	4	デザインヘア	ワンレングスカットの復習と反復。			
9	4	デザインヘア	アウトサイドグラデーションカット①			
10	4	デザインヘア	アウトサイドグラデーションカット②			
11	4	デザインヘア	スクエアカット①			
12	4	デザインヘア	スクエアカット②			
13	4	デザインヘア	サロンメンズスタイル(外部講師)①			
14	4	デザインヘア	サロンメンズスタイル(外部講師)②			
15	4	デザインヘア	サロンメンズスタイル(外部講師)③			
16	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア ① クリッパーの操作方法。			
17	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア ② クリッパーの操作方法。			
18	4	デザインヘア	ワンレングスカット 復習。			
19	4	デザインヘア	レイヤーカット①			
20	4	デザインヘア	レイヤーカット②			
21	4	デザインヘア	セイルレイヤーカット			
22	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング①			
23	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング②			
24	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング③			
25	4	デザインヘア	色々なカット技法と毛量調整			
26	4	デザインヘア	レザーカット等			
27	4	デザインヘア	ニュースタイル女性ショート(外部講師)①			
28	4	デザインヘア	ニュースタイル女性ショート(外部講師)②			
29	4	デザインヘア	オリジナルスタイルの創作と発表。①			
30	4	デザインヘア	オリジナルスタイルの創作と発表。②			



2019年度

授 業 科 目	専門教育		クリエイティブセット	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	後期		単位数	4	担当者名	後藤和幸
授 業 の 概 要	主にドライヤーを使用してのセットを中心にし、まとめ髪まで対応。					
教 育 目 標 (ねらい)	セットの基本となるスタイルを習得する。 総合的なクオリティーを向上させ、トータル技術を身につける。					
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価(バランス、課題の表現ができているか等)50% 2、授業への取り組み評価(授業態度、取り組みの姿勢)50% 総合計60点以上で合格とする。					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	ドライヤーセット	セットに関する知識全般。			
2	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイル	各セクション①		
3	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイル	各セクション②		
4	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイル	各セクション③		
5	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイル	各セクション④		
6	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイル	各セクション⑤		
7	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイル	各セクション⑥		
8	4	ドライヤーセット	トータルでのトレーニング①			
9	4	ドライヤーセット	トータルでのトレーニング②			
10	4	ドライヤーセット	トータルでのトレーニング③			
11	4	ドライヤーセット	トータルでのトレーニング④			
12	4	ワンレングス	レディースウイッグを使用し、プロトレーニング①			
13	4	ワンレングス	レディースウイッグを使用し、プロトレーニング②			
14	4	レイヤー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット①			
15	4	レイヤー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット②			
16	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際にかけ、スタイルを作成 レディース①			
17	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際にかけ、スタイルを作成 レディース②			
18	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際にかけ、スタイルを作成 メンズ①			
19	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際にかけ、スタイルを作成 メンズ②			
20	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ①			
21	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ②			
22	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ③			
23	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ④			
24	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識①			
25	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識②			
26	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、作品作成①			
27	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、作品作成②			
28	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、作品作成③			
29	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、作品作成④			
30	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、作品作成⑤			

2019年度

授 業 科 目	関係法規			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	熊谷史子
授 業 の 概 要	理容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度40%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	法 制 度 の 概 要	社会生活における法の役割、法の形式 衛生法規の概要、理容師法・美容師法と附属法令		
2	2	衛生行政の概要①	衛生行政の意義と歴史、分類と生活衛生行政の内容		
3	2	衛生行政の概要②	衛生行政を担う行政機関		
4	2	理容師法・美容師法 ①	目的、用語の定義 人(理容師・美容師)に関する規定(1)		
5	2	理容師法・美容師法 ②	人(理容師・美容師)に関する規定(2)		
6	2	理容師法・美容師法 ③	人(理容師・美容師)に関する規定(3)		
7	2	理容師法・美容師法 ④	人(理容師・美容師)に関する規定(4)		
8	2	理容師法・美容師法 ⑤	施設(理容所・美容所)に関する規定(1)		
9	2	理容師法・美容師法 ⑥	施設(理容所・美容所)に関する規定(2)		
10	2	理容師法・美容師法 ⑦	違反者等に対する行政処分 罰則		
11	2	関 連 法 規	理容業・美容業に関連する法律		
12	2	ま と め と 復 習 ①			
13	2	ま と め と 復 習 ②			
14	2	ま と め と 復 習 ③			
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

2019年度

授 業 科 目	衛生管理			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1.5	担当者名	高橋まり
授 業 の 概 要	理容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術(消毒法)に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	1. 理容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義 理容業との関わりを認識する。 3. 理容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物(ノート、小テスト)を評価する。 期末考査50%,授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	感 染 症 各 論 ( 1 )	主な感染症①		
2	2	感 染 症 各 論 ( 2 )	主な感染症② 具体的な対策の例 問題		
3	2	消 毒 法 総 論 ( 1 )	消毒の意味と意義		
4	2	消 毒 法 総 論 ( 2 )	理容・美容の業務と消毒との関係		
5	2	消 毒 法 総 論 ( 3 )	消毒法と適用上の注意 問題		
6	2	消 毒 法 各 論 ( 1 )	理学的消毒法 問題		
7	2	消 毒 法 各 論 ( 2 )	化学的消毒法①		
8	2	消 毒 法 各 論 ( 3 )	化学的消毒法② 問題		
9	2	消 毒 法 実 習 ( 1 )	消毒薬の濃度計算①		
10	2	消 毒 法 実 習 ( 2 )	消毒薬の濃度計算② 問題		
11	2	消 毒 法 実 習 ( 3 )	消毒法の選び方 問題		
12	2	理容所および美容所における衛生管理要領(1)	目的 施設及び設備 問題		
13	2	理容所および美容所における衛生管理要領(2)	管理① 問題		
14	2	理容所および美容所における衛生管理要領(3)	衛生的取扱い等 問題		
15	2	理容所および美容所における衛生管理要領(4)	消毒 問題 理・美容所の自主管理点検表 問題		
16	2	国家試験対策(1)	国家試験の過去の問題を解く		
17	2	国家試験対策(2)	国家試験の過去の問題を解く		
18	2	国家試験対策(3)	国家試験の過去の問題を解く		
19	2	国家試験対策(4)	国家試験の過去の問題を解く		
20	2	国家試験対策(5)	国家試験の過去の問題を解く		
21	2	国家試験対策(6)	国家試験の過去の問題を解く		
22	2	国家試験対策(7)	国家試験の過去の問題を解く		
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

2019年度

授 業 科 目		保健			学科・学年	理容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1.3	担当者名	千葉啓子
授 業 の 概 要		一般的な皮膚科学や皮膚の保護、手入れ、皮膚疾患などについて基礎的な知識の習得。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)		皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品を使用する業務上の特徴から、皮膚や毛髪に関する「皮膚科学」の基礎を学ぶ。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法		期末試験と提出物(小テスト、ノート)、授業態度を評価する。 期末考査70%、提出物、授業態度30%。以上を総合的に考慮して評価し、60点を合格とする。				
授 業 計 画						
回	時 間	項 目	内 容			
1	2	皮 膚 の 構 造	皮膚の表面、皮膚断面・表皮・真皮、皮下組織			
2	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ①	毛			
3	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ②	脂腺			
4	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ③	汗腺・爪			
5	2	皮 膚 の 循 環 系 と 神 経	皮膚の血管・リンパ管・神経			
6	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ①	体外保護作用・体温調節			
7	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ②	分泌排泄作用・呼吸作用・吸収作用			
8	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ③	貯蔵作用・免疫・解毒・排除作用			
9	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ④	再生作用・毛のはたらき・			
10	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ①	皮膚と全身状態・皮膚と精神・皮膚と栄養・皮膚の嗜好品			
11	2	ま と め と 復 習	2年生前期の復習			
12	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ②	皮膚と体内病変・皮膚の水分と脂の状態			
13	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ③	皮膚・皮膚付属器官とホルモン・皮膚の保護と手入れ			
14	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ④	毛の保護と手入れ・皮膚のトラブル			
15	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 疾 患 ①	皮膚の異常とその種類・皮膚疾患の原因・皮膚疾患の治療			
16	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 疾 患 ②	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹・口唇の疾患・温熱・寒冷による病			

17	2	皮膚と皮膚付属器 官の疾患③	角化異状による皮膚疾患・色素異状による疾患
18	2	皮膚と皮膚付属器 官の疾患④	血管腫・脂腺母斑・下肢静脈瘤・分泌異状による皮膚疾患
19	2	皮膚と皮膚付属器 官の疾患⑤	化膿菌による皮膚疾患・皮膚疾患の予防・
20	2	まとめと復習①	まとめと復習
21	2	まとめと復習②	まとめと復習
22	2	まとめと復習③	まとめと復習
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

2019年度

授 業 科 目	香粧品化学			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	横橋健
授 業 の 概 要	理容師として極めて重要な意義をもつ「香粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・香粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・香粧品化学の知識・理解を深め理容・美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物(小テスト)を評価する。 期末考査50%、授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	1年時の復習	1年時の復習		
2	2	基礎香粧品	皮膚洗浄用香粧品 化粧水		
3	2	基礎香粧品	クリーム・乳液		
4	2	基礎香粧品	その他の基礎香粧品		
5	2	メイクアップ用香粧品	ベースメイクアップ用香粧品		
6	2	メイクアップ用香粧品	ポイントメイクアップ用香粧品		
7	2	頭皮・毛髪用(1)	シャンプー剤		
8	2	頭皮・毛髪用(2)	スタイリング剤		
9	2	頭皮・毛髪用(3)	パーマ剤①		
10	2	頭皮・毛髪用(4)	パーマ剤②		
11	2	頭皮・毛髪用(5)	ヘアカラー製品①		
12	2	頭皮・毛髪用(6)	ヘアカラー製品②・養毛剤		
13	2	芳香製品	芳香製品		
14	2	特殊香粧品	特殊香粧品		
15	2	まとめと復習			
16	2	期末考査	前期・後期各1時間		

2019年度

授 業 科 目		文化論			学科・学年	理容科	2年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	北野史	
授 業 の 概 要		理容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)		理容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する					
評 価 方 法		毎回単元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとします。また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認します。期末考査50%、プリント達成度30%、授業の関心度20%、総合評価とし60%以上で合格とします。					
回	時間	項 目		内 容			
1	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編		現代I(1945～1950年)			
2	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編		現代II(1960～1970年)			
3	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編		現代III(1980～2000年以降)			
4	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		古代エジプト/古代ギリシャ・ローマ			
5	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		古代ゲルマン/中世ヨーロッパ			
6	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		近世I(16世紀)			
7	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		近世II(17世紀)			
8	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		近世III(18世紀)			
9	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		近代I,II(18世紀末～19世紀)			
10	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		現代I,II(1910～1940)			
11	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		現代III,IV(1940～1960)			
12	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		現代V			
13	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編		現代VI			
14	2	礼 装 の 種 類		和装の礼装 洋装の礼装			
15	2	期 末 考 査		前期・後期各1時間			

## 2019年度

授 業 科 目	運営管理			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	後期	単位数	0.5	担当者名	熊谷史子
授 業 の 概 要	理容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度40%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	健康・安全な職場環境の実現	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康 特徴的な健康問題、作業環境に関する健康問題		
2	2	従業員としての視点から①	社会人としての責任 社会保険(1)		
3	2	従業員としての視点から②	社会保険(2) キャリアプラン		
4	2	顧客のために①	サービスデザイン		
5	2	顧客のために②	マーケティング		
6	2	顧客のために③	接客		
7	2	まとめと復習			
8	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		



2019年度

授 業 科 目	理容理論			学科・学年	理 容 科 2年
開 講 期	通 年	単 位 数	2.5	担 当 者 名	川村重夫
授 業 の 概 要	理容の意義を十分に理解し、理容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師に必要な理論と国家試験に必要な理論を身につける。 国家試験合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングを学ぶにあたって		
2	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの要件		
3	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの種類		
4	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの基本技術と要領①		
5	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングの基本技術と要領②		
6	2	シ ェ ー ビ ン グ	シェービングのプロセス		
7	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズフェイスシェービング		
8	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズネックシェービング		
9	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズフェイスデザイン①		
10	2	シ ェ ー ビ ン グ	メンズフェイスデザイン②		
11	2	シ ェ ー ビ ン グ	レディースシェービング		
12	2	理容エステティック	理容エステティックを学ぶにあたって		
13	2	理容エステティック	スキンケア		
14	2	理容エステティック	フェイシャルケア		
15	2	理容エステティック	ハンドケア		
16	2	理容エステティック	フットケア～アロマセラピー		
17	2	理容クリニック	理容クリニックを学ぶにあたって～ヘアクリニックのカウンセリング		
18	2	理容クリニック	トリートメント		
19	2	理容クリニック	ヘアケアとスカルプケア		
20	2	理容クリニック	毛髪の基礎知識		
21	2	理容クリニック	ヘアチェック(毛髪診断)		
22	2	理容クリニック	頭皮の基礎知識		
23	2	理容クリニック	スカルプチェック(頭皮診断)		
24	2	理容クリニック	ヘアクリニックの用具～ウィッグ		
25	2	シャンプー＆リンス	シャンプー		
26	2	シャンプー＆リンス	シャンプーの方法		
27	2	シャンプー＆リンス	シャンプーの技法		
28	2	シャンプー＆リンス	リンス		
29	2	理容マッサージ	マッサージの意義と効果		
30	2	理容マッサージ	理容マッサージのマニピュレーション		
31	2	理容マッサージ	ヘッドマッサージの一例		
32	2	理容マッサージ	クリニックマッサージの一例		

33	2	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントを学ぶにあたって
34	2	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントの種類～ヘアトリートメントの一例
35	2	スキャルプトリートメン	スキャルプトリートメントを学ぶにあたって
36	2	スキャルプトリートメン ト	スキャルプトリートメントの種類～正常な頭皮に対する処置
37	2	ま と め	テキストⅡの復習・テスト

2019年度

授 業 科 目	理容実習			学科・学年	理容科	2年
開 講 期	通年	単位数	15	担当者名	川村重夫	
授 業 の 概 要	理容の基礎的技術を実習で学び、美や造形感覚も養う。					
教 育 目 標 ( ね ら い )	理容師に必要な技術を身につける。国家試験に合格レベルの実技課題を身につける。					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
月	シャンプー	理容 マッサージ	シェーピング及 び顔面処置	カット	その他	備考
4	○	○	○	○		
5	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	
7	○	○	○	○	○	ヘアデザイン
8	○			○		ヘアデザイン
9	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
10	○	○	○	○	○	
11	○	○	○	○	○	ヘアセットイング
12	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
1	○	○	○	○	○	ハンドケア
2	○	○	○		○	ヘアセットイング
3						
合計時数	90	80	90	140	50	450

2019年度

授 業 科 目	一般教養	デッサン	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	大塚 敬
授 業 の 概 要	主に人物をモチーフにし、デッサンする能力を身に付けさせる				
教 育 目 標 (ねらい)	1.観察する能力、描く能力を身につける。 2.イメージする能力と自身の感性の幅を広げ、磨くことを通してデッサンの基礎を身につける。 3.理容師、美容師の専門的実技とデザインとの関連性への理解を深める				
評 価 方 法	授業への関心態度、作品の内容、提出物(クロッキー帳、小テスト)を評価する 授業への関心態度、50% 作品の内容30%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	デ ッ サ ン (1)	デッサンについて 鉛筆での表現、基礎		
2	3	デ ッ サ ン (2)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 今年度コンテスト作品		
3	3	デ ッ サ ン (3)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
4	3	デ ッ サ ン (4)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
5	3	デ ッ サ ン (5)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
6	3	デ ッ サ ン (6)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
7	3	デ ッ サ ン (7)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
8	3	デ ッ サ ン (8)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
9	3	デ ッ サ ン (9)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
10	3	デ ッ サ ン (10)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	パーソナルカラー	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	佐藤博美
授 業 の 概 要	理容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける				
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度40%、課題提出30%、試験30%とし、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の見える条件		
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度)		
3	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(彩度・清濁)		
4	3	基本の配色法	カラーコーディネート 基本の配色と感情効果		
5	3	パーソナルカラーの分類	パーソナルカラー・4シーズン分類 色彩調和		
6	3	基礎知識	試験による基礎知識の確認		
7	3	ま と め	パーソナルカラーのまとめ		
8	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法①		
9	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法②		
10	3	作 品 制 作	パーソナルカラーを基にした課題作成・提出		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	フラワーアレンジメント	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。				
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。				
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 每作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、平均点60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具の取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。		
2	3	実 技	②トライアングラー 花材説明(種類、産地、特徴)図解説明		
3	3	実 技	③ホリゾンタル ④母の日ラッピングアレンジ		
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展		
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。		
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。		
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク		
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ		
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。		
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想		

## 2019年度

授 業 科 目	一般教養	情報技術	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	加藤 麗子
授 業 の 概 要	社会人として必要なビジネス文書作成・計算・インターネットを活用するための基礎知識を習得する。				
教 育 目 標 (ねらい)	1. 文書(社内・社外)作成の意味を理解し作成できる。 2. 計算式の利用するための基礎知識と、興味を持ち活用できる。 3. 理容・美容の就業に着いた際の、予約管理システムの基礎を経験。インターネットの利活用ができる。				
評 価 方 法	授業への関心態度、提出物(小テスト)を評価する。 提出物(小テスト)40%、授業への関心態度60%、 60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	W o r d 基 礎	Typing(ホームポジション)・ショートカットキー・ビジネス文書		
2	3	W o r d 基 礎 E x c e l 基 礎	Typing(ホームポジション)・ビジネス文書復習・Excel(演算式・関数)		
3	3	E x c e l 基 礎	Typing(ホームポジション)・Excel(復習・相対参照・絶対参照・複合参照)		
4	3	美容室予約システム・Excel 基礎	Typing(ホームポジション)・レコサロ予約システム管理画面設定・Excel(復習・関数)		
5	3	美容室予約システム・Excel 基礎	Typing(ホームポジション)・レコサロ予約システム管理画面設定・Excel(復習・関数)		
6	3	E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Excel(関数・シートの操作)		
7	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
8	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
9	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
10	3	総 括	Typing(ホームポジション)		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	ジェルネイル		学科・学年	理容科 2年
開 講 期	後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る		
2	3	フ ラ ッ ト ア ー ト	アクリル絵の具を用いてのアート		
3	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術		相モデル
4	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術		相モデル
5	3	エ ン ボ ス ア ー ト	エンボスアート		
6	3	3 D ア ー ト	動物製作		
7	3	3 D ア ー ト	グラデーション・フレンチ技術		
8	3	中 級 技 術	アート技術を組み合わせての作品製作		
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		
10	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		



2019年度

授 業 科 目		専 門 教 育		エ ス テ	学 科 ・ 学 年	理 容 科	2 年
開 講 期		前 期	単 位 数	4	担 当 者 名	岡 田 聡 江	
授 業 の 概 要		エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる(ソワンエステ)について理解する					
教 育 目 標 (ねらい)		エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける					
評 価 方 法		実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	chapter 1 . 2	エステティックとは・生命活動とホメオスタシス				
2	4	chapter 3	身体のしくみと働き I				
3	4	chapter 4 . 5	身体のしくみと働き II・皮膚の仕組みと働き I ①				
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働き I ②				
5	4	chapter 7 . 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き				
6	4	chapter 9 . 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒				
7	4	chapter 11 . 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識				
8	4	chapter 13. エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備・				
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマトール・ウツランブ・アロミスト・ヴァックスプレイ①				
10	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマトール・ウツランブ・アロミスト・ヴァックスプレイ②				
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマトール・アロミスト・ヴァックスプレイ・パター・仕上げ①				
12	4	フェイシャルトリートメント	フリマトール・アロミスト・ヴァックスプレイ・パター・仕上げ②				
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①				
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②				
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ①				
16	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ②				
17	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①				
18	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント②				
19	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①				
20	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②				
21	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ③				
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌				
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌				
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌				
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌				
26	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌				
27	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌				
28	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ				
29	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ				
30	4	フェイシャルトリートメント	ボディトリートメント				

2019年度

授 業 科 目	専門教育	トータルテクニック		学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	高橋敏樹・川村重夫	
授 業 の 概 要	基礎から実践的な適応力を身に付ける。また、コンテスト上位入賞を目的とした技術も習得していく。					
教 育 目 標 (ねらい)	コンテスト上位入賞を目的とした技術の習得。 職人、アート、トレンドの視点から総合力の高い技術を身につける。					
評 価 方 法	課題のクリアを毎時間記録、授業最終日の試験と出欠状況、授業の関心態度を評価する。試験60%、授業への関心態度40%、とし総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	カ ラ ー リ ン グ	カラーチャート造り	ブリーチ(常温・加温)		
2	4	カ ラ ー リ ン グ	カラーチャート造り	アルカリバージョン(アンダーカラー3種)		
3	4	カ ラ ー リ ン グ	カラーチャート造り	マニキュアバージョン		
4	4	カ ラ ー リ ン グ	塗布の練習			
5	4	メンズフリージャンクション	カット	パーマ	セット	コンテスト創作
6	4	メンズフリージャンクション	カット	カラーの実際		
7	4	メンズフリージャンクション	カット	カラーの実際		
8	4	メンズフリージャンクション	カット	カラー	セット	作品造り
9	4	カ ラ ー リ ン グ	塗布の練習	スライジング	ウィービング	
10	4	フンレンクスカラー	カット	(ブリーチ カラー 4パターン)		
11	4	レディース グラボブ	カット	セットの実際		
12	4	レディース グラボブ	ミディアムロングでレディースパーマ ヘアカタログ参照			
13	4	レディース グラボブ	ブロッキング～縦 横巻きで全頭を巻く			
14	4	レディース グラボブ	カラー(オールorスライジング、ウィービング)			
15	4	メンズフリージャンクション	カット	セット	カラー	作品造り
16	4	アップスタイル	スタイル造り			
17	4	メンズフリージャンクション	コンテスト製作			
18	4	フロントロングレイヤー	レディースフロントロングレイヤーカット セット			
19	4	ブ ロ ー ス カ ッ ト	国試用ウィッグにてブロースカット			
20	4	ストレートパーマ	DVD学習 アイロン操作			
21	4	ストレートパーマ	実際に薬液処理			
22	4	メ ン ズ カ ッ ト	メンズカット・パーマ			
23	4	アイロンパーマ	ショートスタイルカット	アイロン持ち方・操作		
24	4	アイロンパーマ	アイロン練習			
25	4	アイロンパーマ	薬液処理しアイロンパーマ			
26	4	クラシカルカット	クラシカルカット			
27	4	クラシカルカット	クラシカルセット			
28	4	レ イ ヤ ー ボ ブ	レディースレイヤーボブカット	セット	コンテスト創作	
29	4	アップスタイル	スタイル造り			
30	4	アップスタイル	スタイル造り			

2019年度

授 業 科 目		専門教育	カットⅡ		学科・学年	理容科	2年
開 講 期		後期	単位数	4	担当者名	杉本智亜樹・川村重夫	
授 業 の 概 要		サロンワークに直結した内容を学び、理容師の仕事の魅力を知る。					
教 育 目 標 (ねらい)		現代のトレンドに合った技術の習得、技術の活かし方を学習する。					
評 価 方 法		授業最終日のコンテスト、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%、とし総合計60点以上で合格とする。					
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	ミディアムレイヤー	カットシステムの理解と実際				
2	4	セイムレイヤーカット	カットシステムの理解と実際				
3	4	ショートレイヤー	カットシステムの理解と実際				
4	4	グラデーションボブ	カットシステムの理解と実際				
5	4	グラデーションボブ	カラーリング実施				
6	4	ロングレイヤー	トレンドに合わせたスタイルのカットとスタイリング				
7	4	グ ラ ボ ブ	仕上げとセット				
8	4	システムマッシュレイヤー	トレンドに合わせたミディアムのカットとスタイリング				
9	4	スクエアカット	カットシステムの理解と実際				
10	4	ミディアム事前カット	カットの実際		レディースミディアムカット		
11	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット				
12	4	ハーフロング フロース	カットとぼかし(直し)				
13	4	ボ ブ	トレンドに合わせたボブのカットとスタイリング				
14	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット				
15	4	シ ョ ー ト ボ ブ	トレンドに合わせたショートボブのカットとスタイリング				
16	4	ミディアム事前カット	カットの実際		レディースミディアムカット		
17	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット				
18	4	ハーフロング フロース	カットとぼかし(直し)セット				
19	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット				
20	4	クラシカルカット	カットの実際				
21	4	クラシカルカット	カット 仕上げ				
22	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品造り(ミニコンテスト)				
23	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品造り(ミニコンテスト)				
24	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品造り(ミニコンテスト)				
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品造り(ミニコンテスト)				
26	4	デザインコンテスト	学習してきたことを活かしてデザインカット				
27	4	クラシカルバック	カット仕上げ セット				
28	4	ミディアム事前カット	カットの実際		レディースミディアムカット		
29	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット(テスト)				
30	4	フ リ ー カ ッ ト	相モデルでの実施				

2019年度

授 業 科 目		理容理論			学科・学年	理 容 科 美 容 修 得 者
開 講 期		通 年	単 位 数	4	担 当 者 名	後 藤 和 幸
授 業 の 概 要		理容の意義を十分に理解し、理容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 ( ね ら い )		理容師に必要な理論と国家試験に必要な理論を身につける。 国家試験合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法		期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	理容技術を学ぶにあたって	理容技術理論を学ぶにあたって			
2	2	理容技術の基礎	姿勢・トレーニング			
3	2	理 容 用 具	理容と用具・理容用具と衛生			
4	2	理 容 用 具	理容刃物・シザーズ			
5	2	理 容 用 具	レザー・クリッパー			
6	2	理 容 用 具	コーム・ブラシ			
7	2	ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザイン			
8	2	ヘアデザイン	ヘアスタイル			
9	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングを学ぶにあたって、観測法			
10	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基本原則			
11	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの一般的手順			
12	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要①			
13	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの用具の持ち方と操作			
14	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法①			
15	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法②			
16	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのスタイル別カットシステム①			
17	2	ヘアカッティング	デザインヘア			
18	2	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム①			
19	2	ヘアカッティング	デザインヘアカットの一例			
20	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングを学ぶにあたって 種類			
21	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングの実際			
22	2	ヘアセッティング	レディースヘアのスタイリング			
23	2	パーマメントセット	パーマントウエービング ワインディング①			
24	2	パーマメントセット	コールド二浴式パーマントウエーブの一例			
25	2	パーマメントセット	アイアニング①			
26	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの歴史 色彩の原理			
27	2	ヘアカラーリング	染毛剤の種類と原理			
28	2	ヘアカラーリング	染毛剤の安全性と取扱い上の注意			
29	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング技術のプロセス			
30	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの一例			
31	2	シェービング	シェービングを学ぶにあたって			
32	2	シェービング	シェービングの要件			

33	2	シェービング	シェービングの種類
34	2	シェービング	シェービングの基本技術と要領①
35	2	シェービング	シェービングのプロセス
36	2	シェービング	メンズフェイスシェービング
37	2	シェービング	メンズネックシェービング
38	2	シェービング	メンズフェイスデザイン①
39	2	シェービング	レディースシェービング
40	2	理容エステティック	スキンケア
41	2	理容エステティック	フェイシャルケア
42	2	理容エステティック	ハンドケア
43	2	理容エステティック	フットケア～アロマセラピー
44	2	理容クリニック	理容クリニックを学ぶにあたって～ヘアクリニックのカウンセリング
45	2	理容クリニック	ヘアケアとスカルプケア
46	2	理容クリニック	毛髪の基礎知識
47	2	理容クリニック	ヘアチェック(毛髪診断)
48	2	理容クリニック	スカルプチェック(頭皮診断)
49	2	理容クリニック	ヘアクリニックの用具～ウィッグ
50	2	シャンプー&リンス	シャンプー
51	2	シャンプー&リンス	シャンプーの方法
52	2	シャンプー&リンス	シャンプーの技法
53	2	シャンプー&リンス	リンス
54	2	理容マッサージ	マッサージの意義と効果
55	2	理容マッサージ	ヘッドマッサージの一例
56	2	理容マッサージ	クリニックマッサージの一例
57	2	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントの種類～ヘアトリートメントの一例
58	2	スカルプトリートメント	スカルプトリートメントの種類～正常な頭皮に対する処置
59	2	ま と め	テキストⅡの復習・テスト
60	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

2019年度

授 業 科 目	理容実習			学科・学年	理容科	美容修得者
開 講 期	通年	単位数	23	担当者名	川村重夫	
授 業 の 概 要	理容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る					
教 育 目 標 ( ね ら い )	理容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を学ぶ					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
月	カット	シェービング及 び顔面処置	整髪	シャンプー、マツ サージ	その他	備考
4	○	○	○	○		
5	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	理容クリニック
7	○	○	○	○	○	カラーリング
8	○	○	○	○	○	カラーリング
9	○	○	○	○	○	カラーリング
10	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
11	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
12	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
1	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
2	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
3						
合計時数	220	190	80	80	120	

2019年度

授 業 科 目	専門教育		カット I	学科・学年	理容科 美容修得者
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	早坂精徳・後藤和幸
授 業 の 概 要	学校の授業にある基本をベースに、少し応用を加えながらトレンドを意識したサロンスタイルを作り上げることで、理容の仕事の楽しさと可能性を感じてもらう。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カットによるスタイルの技能を身につける。</li> <li>・コーミングの大切さを身につける。</li> <li>・個性や感性を活かし、自由にスタイリングできる技術を身につける。</li> </ul>				
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価(バランス、課題の表現ができていないか等)50% 2、授業への取り組み評価(授業態度、取り組みの姿勢)50% 総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	器具の使用法	器具の基本操作等。		
2	4	基本姿勢	カットにおける姿勢の大切さについて。実際。		
3	4	デザインヘア	カットの事前準備として、ブロッキング技術の実習。		
4	4	デザインヘア	ワンレングスカット①		
5	4	デザインヘア	ワンレングスカット②		
6	4	デザインヘア	ワンレングスカット③		
7	4	デザインヘア	インサイドグラデーション		
8	4	デザインヘア	ワンレングスカットの復習と反復。		
9	4	デザインヘア	アウトサイドグラデーションカット①		
10	4	デザインヘア	アウトサイドグラデーションカット②		
11	4	デザインヘア	スクエアカット①		
12	4	デザインヘア	スクエアカット②		
13	4	デザインヘア	サロンメンズスタイル(外部講師)①		
14	4	デザインヘア	サロンメンズスタイル(外部講師)②		
15	4	デザインヘア	サロンメンズスタイル(外部講師)③		
16	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア ① クリッパーの操作方法。		
17	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア ② クリッパーの操作方法。		
18	4	デザインヘア	ワンレングスカット 復習。		
19	4	デザインヘア	レイヤーカット①		
20	4	デザインヘア	レイヤーカット②		
21	4	デザインヘア	セიმレイヤーカット		
22	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング①		
23	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング②		
24	4	スタンダードヘア	ミディアムヘア・ハーフロング③		
25	4	デザインヘア	色々なカット技法と毛量調整		
26	4	デザインヘア	レザーカット等		
27	4	デザインヘア	ニュースタイル女性ショート(外部講師)①		
28	4	デザインヘア	ニュースタイル女性ショート(外部講師)②		
29	4	デザインヘア	オリジナルスタイルの創作と発表。①		
30	4	デザインヘア	オリジナルスタイルの創作と発表。②		

2019年度

授 業 科 目		専門教育	カットⅡ		学科・学年	理容科 美容修得者
開 講 期		後期	単位数	4	担当者名	杉本智亜樹・川村重夫
授 業 の 概 要		サロンワークに直結した内容を学び、理容師の仕事の魅力を知る。				
教 育 目 標 (ねらい)		現代のトレンドに合った技術の習得、技術の活かし方を学習する。				
評 価 方 法		授業最終日のコンテスト、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%、とし総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	ミディアムレイヤー	カットシステムの理解と実際			
2	4	セイムレイヤーカット	カットシステムの理解と実際			
3	4	ショートレイヤー	カットシステムの理解と実際			
4	4	グラデーションボブ	カットシステムの理解と実際			
5	4	グラデーションボブ	カラーリング実施			
6	4	ロングレイヤー	トレンドに合わせたスタイルのカットとスタイリング			
7	4	グ ラ ボ ブ	仕上げとセット			
8	4	システムマッシュレイヤー	トレンドに合わせたミディアムのカットとスタイリング			
9	4	スクエアカット	カットシステムの理解と実際			
10	4	ミディアム事前カット	カットの実際		レディースミディアムカット	
11	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット			
12	4	ハーフロング フロース	カットとぼかし(直し)			
13	4	ボ ブ	トレンドに合わせたボブのカットとスタイリング			
14	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット			
15	4	シ ョ ー ト ボ ブ	トレンドに合わせたショートボブのカットとスタイリング			
16	4	ミディアム事前カット	カットの実際		レディースミディアムカット	
17	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット			
18	4	ハーフロング フロース	カットとぼかし(直し)セット			
19	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット			
20	4	クラシカルカット	カットの実際			
21	4	クラシカルカット	カット 仕上げ			
22	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品造り(ミニコンテスト)			
23	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品造り(ミニコンテスト)			
24	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品造り(ミニコンテスト)			
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品造り(ミニコンテスト)			
26	4	デザインコンテスト	学習してきたことを活かしてデザインカット			
27	4	クラシカルバック	カット仕上げ セット			
28	4	ミディアム事前カット	カットの実際		レディースミディアムカット	
29	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット(テスト)			
30	4	フ リ ー カ ッ ト	相モデルでの実施			



## 2019年度 シラバス

授 業 科 目		衛生管理		学科・学年	美容科 1年	
開 講 期		通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要		理・美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を、公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術(消毒法)に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		1. 理・美容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義と理・美容業との関わりを認識する。 3. 理・美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物(ノート, 小テスト)を評価する。 期末試験50%,授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	公衆衛生の概要 ( 1 )	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史			
2	2	公衆衛生の概要 ( 2 )	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業			
3	2	保 健 ( 1 )	母子保健			
4	2	保 健 ( 2 )	成人・高齢者保健①			
5	2	保 健 ( 3 )	成人・高齢者保健②			
6	2	保 健 ( 4 )	成人・高齢者保健③ 精神保健 問題			
7	2	環 境 衛 生 ( 1 )	環境衛生の概要			
8	2	環 境 衛 生 ( 2 )	空気環境			
9	2	環 境 衛 生 ( 3 )	衣服・住居の衛生			
10	2	環 境 衛 生 ( 4 )	上・下水道と廃棄物 問題			
11	2	環 境 衛 生 ( 5 )	衛生害虫とネズミ 環境保全			
12	2	感染症の総論(1)	感染症発見の歴史 感染症と法律			
13	2	感染症の総論(2)	感染症の分類 問題			
14	2	感染症の総論(3)	病原微生物 ①			
15	2	感染症の総論(4)	病原微生物 ② 問題			
16	2	感染症の総論(5)	感染症の予防 ①			

17	2	感染症の総論(6)	感染症の予防 ②
18	2	感染症の総論(7)	感染症の予防 ③ 問題
19	2	感染症の各論(1)	主な感染症 ①
20	2	感染症の各論(2)	主な感染症 ②
21	2	感染症の各論(3)	主な感染症 ③ 問題
22	2	まとめと復習	まとめと復習
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

2019年度

授 業 科 目		保健		学科・学年	美容科 1年	
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要		”美”の源泉である”健康”を保つために、理・美容師として必要な知識である”人体の構造と機能”を理解する。				
教 育 目 標 (ねらい)		1. 美容師国家試験合格のための知識習得 2. 人体の構造、機能について頭頸部を中心に解剖学を学び、理解する。 3. 皮膚とその付属器官について詳細を学ぶ。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物(ノート、小テスト)を評価する。 期末考査50%、出席状況と授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学(1)	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学①			
2	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学(2)	頭部、顔部、頸部の体表解剖学②			
3	2	骨 格 器 系	骨の種類と構造 骨の連結とそのはたらき			
4	2	筋 系 ( 1 )	筋の種類とその特徴 主な骨格筋とそのはたらき			
5	2	筋 系 ( 2 )	表情筋と表情運動			
6	2	神 経 系	神経の成り立ち 中枢神経と末梢神経			
7	2	感 覚 器 系 ( 1 )	視覚 聴覚			
8	2	感 覚 器 系 ( 2 )	平衡感覚 味覚 嗅覚 皮膚感覚			
9	2	血液、循環器系(1)	血液のあらまし 血液循環			
10	2	血液、循環器系(2)	心臓と血管のはたらき リンパ管系の仕組みとはたらき			
11	2	呼 吸 器 系	気道 肺の仕組みとガス交換 呼吸運動			
12	2	消 化 器 系	消化管の仕組みとはたらき 消化と物質代謝			
21	2	ま と め と 復 習	1年次前期のまとめと復習			
13	2	皮 膚 の 構 造 ( 1 )	皮膚の表面と断面 表皮 真皮			
14	2	皮 膚 の 構 造 ( 2 )	皮下組織 皮膚の部位差			
15	2	皮膚付属器官の構造 ( 1 )	毛			

16	2	皮膚付属器官の構造 ( 2 )	脂腺 汗腺 爪
17	2	皮膚の循環器と神経系	皮膚の血管、リンパ管、神経
18	2	皮膚と皮膚付属器官の 生理機能(1)	対外保護作用 体温調節作用
19	2	皮膚と皮膚付属器官の 生理機能(2)	知覚作用と皮膚反射 分泌排泄作用
20	2	皮膚と皮膚付属器官の 生理機能(3)	呼吸、吸収、貯蔵作用 免疫、解毒、排除作用
22	2	まとめと復習	1年次後期のまとめと復習
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

2019年度 シラバス

授 業 科 目	化粧品化学			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要	美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物(小テスト)を評価する。 期末考査50%、授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	化粧品概論(1)	社会的意義と品質特性 化粧品の規制		
2	2	化粧品概論(2)	化粧品の安定性と取り扱い上の注意 化粧品と安全性		
3	2	化粧品原料(1)	化粧品の対象となる人体各部の性状		
4	2	化粧品原料(2)	水性原料①		
5	2	化粧品原料(3)	水性原料②		
6	2	化粧品原料(4)	油性原料		
7	2	化粧品原料(5)	界面活性剤①		
8	2	化粧品原料(6)	界面活性剤②		
9	2	化粧品原料(7)	高分子化合物		
10	2	化粧品原料(8)	色材①		
11	2	化粧品原料(9)	色材②		
12	2	化粧品原料(10)	香料		
13	2	化粧品原料(11)	その他の配合成分		
14	2	化粧品原料(12)	ネイル、まつ毛エクステンション用材		
15	2	まとめと復習			
16	1	期 末 考 査	後期1時間		

2019年度

授 業 科 目		文化論			学科・学年	美容科	1年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	加藤 順子	
授 業 の 概 要		美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)		美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する					
評 価 方 法		毎回単元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をし、期末考査50%、プリント達成度30%、授業の関心度20%とし、総合計60%以上で合格とする。					
授 業 計 画							
回	時間	項 目		内 容			
1	2	総 論		総論			
2	2	日本の理容業・美容業の歴史		理容業・美容業の発生			
3	2	日本の理容業・美容業の歴史		江戸時代の理容業・美容業			
4	2	日本の理容業・美容業の歴史		近代の理容業・美容業			
5	2	日本の理容業・美容業の歴史		近代の理容業・美容業			
6	2	ファッション文化史 日 本 編		縄文・弥生・古墳時代			
7	2	ファッション文化史 日 本 編		古代(飛鳥・奈良・平安時代)			
8	2	ファッション文化史 日 本 編		中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)			
9	2	ファッション文化史 日 本 編		近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)			
10	2	ファッション文化史 日 本 編		近世Ⅱ(江戸時代)			
11	2	ファッション文化史 日 本 編		近代(明治・大正・昭和20年まで)			
12	2	ファッション文化史 日 本 編		現代Ⅰ(1945年～1950年まで)			
13	2	ファッション文化史 日 本 編		現代Ⅱ(1960年～1970年まで)			
14	2	ファッション文化史 日 本 編		現代Ⅲ(1980年代～1990年まで)			
15	2	ファッション文化史 日 本 編		現代Ⅳ(2000年以降)			
16	2	期 末 考 査		前期・後期各1時間			

2019年度

授 業 科 目		運営管理		学科・学年	美容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名
授 業 の 概 要		理容業・美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。			
教育目標 (ねらい)		理容師・美容師国家試験合格レベルの知識習得。			
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度を評価す 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、60点以上で合格とする。			
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	経 営 者 の 視 点	経営とは・経営者とは		
2	2	理 容 業 美 容 業 の 経 営 に つ い て			
3	2	資 金 の 管 理			
4	2	人 という 資 源	人という資源とは、人の能力を高める 人をやる気にさせるために		
5	2	〃	給与、待遇福利厚生		
6	2	〃	労働者の権利		
7	2	健 康 ・ 安 全 な 職 場 環 境 の 実 現	健康管理の基礎 理容・美容の仕事と健康		
8	2	〃	理容業・美容業に特徴的な健康課題 理容・美容の作業環境に関する健康問題		
9	2	従 業 員 と し て の 視 点 か ら	従業員としての責任 社会保険(1)		
10	2	〃	キャリアプランの重要性		
11	2	〃	サービスデザイン		
12	2	顧 客 の た め に	マーケティング		
13	2	ま と め と 復 習			
14	2	ま と め と 復 習			
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

2019年度

授 業 科 目	美容理論			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	2.5	担当者名	岡田聡江
授 業 の 概 要	美容の意義を十分に理解し、美容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師に必要な理論を身につける 国家試験合格レベルの理論の知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と技術		
2	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容技術における作業姿勢と人体各部の名称		
3	2	美 容 用 具	美容の道具		
4	2	美 容 用 具	美容の器具		
5	2	美 容 用 具	美容の機械		
6	2	美 容 用 具	美容の用具の種類と取り扱い		
7	2	シ ャ ン プ ー	シャンプーイング総論		
8	2	シ ャ ン プ ー	サイドシャンプー		
9	2	シ ャ ン プ ー	バックシャンプー		
10	2	シ ャ ン プ ー	リンス・コンディショナー		
11	2	シ ャ ン プ ー	トリートメント		
12	2	シ ャ ン プ ー	ヘットスパ		
13	2	ヘアデザイン	美容とデザイン		
14	2	ヘアデザイン	錯覚現象を美容に生かそう		
15	2	ヘアデザイン	デザインの要素		
16	2	ヘアデザイン	デザインの要素原理①		
17	2	ヘアデザイン	デザインの要素原理②		
18	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングとは		
19	2	ヘアカッティング	シザーズとレザーの取り扱い・美容刃物		
20	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの正しい姿勢・ブロッキング		
21	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基礎理論・ベーシックなカット		
22	2	ヘアカッティング	シザーズによるカット技法		
23	2	ヘアカッティング	レザーによるカット技法		
24	2	パーマントウェーブ	パーマントウェーブの歴史		
25	2	パーマントウェーブ	パーマントウェーブの理論・パーマ剤の分類		
26	2	パーマントウェーブ	パーマ剤に関する注意事項		
27	2	パーマントウェーブ	パーマントウェーブ技術		
28	2	パーマントウェーブ	ワインディングのバリエーション		
29	2	パーマントウェーブ	縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)		
30	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論・ヘアカラーの種類		
31	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーのタイプ別特徴・染毛のメカニズム		
32	2	ヘアカラーリング	色の基本・毛髪のレベルとアンダートーン		



33	2	ヘアカラーリング	パッチテスト・染毛剤使用時の注意・ヘアカラーリングの道具
34	2	ヘアカラーリング	酸化染毛剤、染毛料の技術手順・ヘアブリーチ
35	2	ネイル技術	ネイルの理論と技術・ネイル技術の種類
36	2	ネイル技術	カウンセリング・ネイルケア・アーティフィシャルネイル
37	2	まとめ・復習	美容理論の総復習・小テスト
38	2	期末考査	前期、後期学期末試験

2019年度

授 業 科 目	美容実習			学科・学年	美容科	1年
開 講 期	通年	単位数	15	担当者名	岡田聡江	
授 業 の 概 要	美容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る					
教 育 目 標 ( ね ら い )	美容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を身につける					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
月	シャンプー	カット	ワインディング	その他		備考
4	○	○	○			
5	○	○	○			
6	○	○	○			
7	○	○	○			
8	○	○	○			
9	○	○	○			
10	○	○	○			
11	○	○	○			
12	○	○	○			
1	○	○	○	○		ヘアカラーリング
2	○	○	○	○		ネイル
3		○	○			
合計時数	70	78	296	6		

## 2019年度

授 業 科 目	一般教養	デッサン	学科・学年	美 容 科	1年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	大塚 敬
授 業 の 概 要	主に人物をモチーフにし、デッサンする能力を身に付けさせる				
教 育 目 標 (ねらい)	1.観察する能力、描く能力を身につける。 2.イメージする能力と自身の感性の幅を広げ、磨くことを通してデッサンの基礎を身につける。 3.理容師、美容師の専門的実技とデザインとの関連性への理解を深める				
評 価 方 法	授業への関心態度、作品の内容、提出物(クロッキー帳、小テスト)を評価する 授業への関心態度、50% 作品の内容30%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	デ ッ サ ン (1)	デッサンについて 鉛筆での表現、基礎		
2	3	デ ッ サ ン (2)	人物を描く	今年度コンテスト作品	
			頭部、顔の各部の形状について		
3	3	デ ッ サ ン (3)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
4	3	デ ッ サ ン (4)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
5	3	デ ッ サ ン (5)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
6	3	デ ッ サ ン (6)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
7	3	デ ッ サ ン (7)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
8	3	デ ッ サ ン (8)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
9	3	デ ッ サ ン (9)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
10	3	デ ッ サ ン (10)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		

## 2019年度

授 業 科 目	一般教養	情報技術	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	加藤 麗子
授 業 の 概 要	社会人として必要なビジネス文書作成・計算・インターネットを活用するための基礎知識を習得する。				
教 育 目 標 (ねらい)	1. 文書(社内・社外)作成の意味を理解し作成できる。 2. 計算式の利用するための基礎知識と、興味を持ち活用できる。 3. 理容・美容の就業に着いた際の、予約管理システムの基礎を経験する。インターネットの利活用ができる。				
評 価 方 法	授業への関心態度、提出物(小テスト)を評価する。 提出物(小テスト)40%、授業への関心態度60%、 60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	W o r d 基 礎	Typing(ホームポジション)・ショートカットキー・ビジネス文書		
2	3	W o r d 基 礎 E x c e l 基 礎	Typing(ホームポジション)・ビジネス文書復習・Excel(演算式・関数)		
3	3	E x c e l 基 礎	Typing(ホームポジション)・Excel(復習・相対参照・絶対参照・複合参照)		
4	3	美容室予約システム・Excel 基礎	Typing(ホームポジション)・レコサロ予約システム管理画面設定・Excel(復習・関数)		
5	3	美容室予約システム・Excel 基礎	Typing(ホームポジション)・レコサロ予約システム管理画面設定・Excel(復習・関数)		
6	3	E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Excel(関数・シートの操作)		
7	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
8	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
9	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
10	3	総 括	Typing(ホームポジション)		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	パーソナルカラー	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	佐藤博美
授 業 の 概 要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける				
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度40%、課題提出30%、試験30%とし、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の見える条件		
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度)		
3	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(彩度・清濁)		
4	3	基本の配色法	カラーコーディネート 基本の配色と感情効果		
5	3	パーソナルカラーの分類	パーソナルカラー・4シーズン分類 色彩調和		
6	3	基礎知識	試験による基礎知識の確認		
7	3	ま と め	パーソナルカラーのまとめ		
8	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法①		
9	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法②		
10	3	作 品 制 作	パーソナルカラーを基にした課題作成・提出		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	フラワーアレンジメント	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。				
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。				
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 每作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、平均点60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具の取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。		
2	3	実 技	②トライアングラー 花材説明(種類、産地、特徴)図解説明		
3	3	実 技	③ホリゾンタル ④母の日ラッピングアレンジ		
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展		
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。		
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。		
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク		
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ		
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。		
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	ジェルネイル	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る		
2	3	フ ラ ッ ト ア ー ト	アクリル絵の具を用いてのアート		
3	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル		
4	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル		
5	3	エ ン ボ ス ア ー ト	エンボスアート		
6	3	3 D ア ー ト	動物製作		
7	3	3 D ア ー ト	グラデーション・フレンチ技術		
8	3	中 級 技 術	アート技術を組み合わせての作品製作		
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		
10	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		

2019年度

授 業 科 目	専門教育	フォト&カット		学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	三浦浩代・菊地恵美	
授 業 の 概 要	ベーシックカット、デザインカットの知識 フォトコン作品作り、及びフォトテクニックを学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)	基礎知識を習得する。 身につけた技能をサロンワークに活用できるようにする。					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習			
2	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習			
3	4	実 習 準 備	フォトコンテストに向けスタイル画作成、メイク、小物準備について			
4	4	実 習 準 備	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
5	4	ワ ン レ ン グ ス	ワンレングス復習、ブロー			
6	4	グラデーションボブ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
7	4	グラデーションボブ	グラデーションボブの復習、ブロー			
8	4	マッシュルームカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
9	4	マッシュルームカット	マッシュルームカット復習、ブロー			
10	4	レ イ ヤ ー	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
11	4	レ イ ヤ ー	レイヤーカット復習、ブロー			
12	4	2セクションカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
13	4	2セクションカット	2セクションカット復習、ブロー			
14	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット			
15	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ			
16	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法			
17	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法			
18	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習			
19	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習			
20	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ			
21	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ			
22	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う			
23	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う			
24	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う			
25	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する			
26	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する			
27	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向けた、準備、作業工程、結果のまとめ			
28	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の5パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ			
29	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の6パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ			
30	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の7パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ			



2019年度

授 業 科 目	専門教育 アップ			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	櫻井 江利子
授 業 の 概 要	美容師として必須のアップ技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	基本的な編み込から日本髪までアップの知識や技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的		
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方		
3	4	編 み 込 み	三つ編み(表・裏) 四つ編み(丸・平)		
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)		
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)		
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)		
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル		
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン		
9	4	編み込みスタイル	かご編み		
10	4	ハーフスタイル	ハーフアップ すき毛の作り方		
11	4	ハーフスタイル	ハーフアップ		
12	4	ハーフスタイル	ハーフアップ		
13	4	ハーフスタイル	ハーフアップ		
14	4	ハーフスタイル	ハーフアップ		
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル		
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル		
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会		
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック		
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ		
26	4	日 本 髪	日本髪の練習		
27	4	日 本 髪	日本髪の練習		
28	4	日 本 髪	日本髪の練習		
29	4	日 本 髪	日本髪の練習		
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト		

2019年度

授 業 科 目	専門教育		カラーリング	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期	または 後期	単位数	4	担当者名	白畑亨・川村こずえ
授 業 の 概 要	美容師として必須のカラーリング技術を基本から応用まで学ぶ					
教 育 目 標 ( ね ら い )	カラーリングの基礎技術を学び、薬剤の知識を身につけることにより、就職後のサロンワークに役立つ技術を身につける					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	実 習 準 備	ウィッグカット			
2	4	実 習 準 備	ウィッグカット			
3	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術			
4	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術			
5	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術			
6	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術			
7	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
8	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
9	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
10	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
11	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
12	4	デモンストレーション	美容師を取り巻く環境について、リアルサロンワークデモ			
13	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
14	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
15	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
16	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
17	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
18	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
19	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
20	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
21	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
22	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
23	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備			
24	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備			
25	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング			
26	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング			
27	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング			
28	4	グ ル ー プ ワ ー ク	サロンの現場で起こるトラブルシューティング			
29	4	グ ル ー プ ワ ー ク	サロントラブルの応用及び検証			
30	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング			

2019年度

授 業 科 目		専門教育		エステ	学科・学年	美容科	1年
開 講 期		前期 または 後期	単位数	4	担当者名	岡田聡江	
授 業 の 概 要		エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる(ソワンエステ)について理解する					
教 育 目 標 (ねらい)		エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける					
評 価 方 法		実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	chapter 1 . 2	エステティックとは・生命活動とホメオスタシス				
2	4	chapter 3	身体のしくみと働き I				
3	4	chapter 4 . 5	身体のしくみと働き II・皮膚の仕組みと働き I ①				
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働き I ②				
5	4	chapter 7 . 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き				
6	4	chapter 9 . 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒				
7	4	chapter 11 . 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識				
8	4	chapter 13. エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備・				
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマトール・ウツランブ・アロミスト・ヴァックスプレイ①				
10	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマトール・ウツランブ・アロミスト・ヴァックスプレイ②				
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマトール・アロミスト・ヴァックスプレイ・パター・仕上げ①				
12	4	フェイシャルトリートメント	フリマトール・アロミスト・ヴァックスプレイ・パター・仕上げ②				
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①				
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②				
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ①				
16	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ②				
17	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①				
18	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント②				
19	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①				
20	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②				
21	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ③				
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌				
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌				
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌				
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌				
26	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌				
27	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌				
28	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ				
29	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ				
30	4	フェイシャルトリートメント	ボディトリートメント				

2019年度

授 業 科 目	専門教育		着付け	学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	4	担当者名	生島 雅世子 丹野 益美 鈴木 久美子
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖(二重太鼓)、中振袖(ふくら雀・文庫・立矢)、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳(掛下・打掛)の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	着付け総論(理論)	着物および着付けについての基礎的知識の講義		
2	4	着付け総論(理論)	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義		
3	4	着付け総論(理論)	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義		
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方		
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め・の締め方、帯(文庫)の結び方		
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め・の締め方、帯(文庫)の結び方		
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め・の締め方、帯(文庫)の結び方		
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習(全体のバランスや審査項目のチェック)		
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め・の締め方		
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め・の締め方		
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び(二重太鼓)、帯締め、帯揚げの締め方		
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス		
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス		
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス		
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト		
16	4	留 袖 実 技 テ ス ト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック(襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和)		
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け		
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、ふくら雀		
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習		
20	4	SBS技能検定4級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験(浴衣)21分		
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、ふくら雀、全体のバランス		
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、ふくら雀、全体のバランス		
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、文庫結び(星雲)、全体のバランス		
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、立矢結び(末広)、全体のバランス		
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト		
26	4	中 振 袖 実 技 テ ス ト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック(襟・裾合わせ、ふくら雀の調和)		
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス		
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス		
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け(掛下帯・抱え帯・小物など)		
30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い		

2019年度

授 業 科 目	専門教育		ネイル	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	遠藤淳子・山内とし子	
授 業 の 概 要	ネイルの基本技術と知識を学ぶ					
教育目標 （ねらい）	ジェルネイル(初級)に向けて、ネイル技術と知識を身に付ける					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	実 習 準 備	ネイル実習に入るための用具・用材の準備			
2	4	ネ イ ル 基 礎 理 論	ネイルの歴史・爪の構造			
3	4	ネ イ ル 実 習	テーブルセッティング・爪の形・ファイリング(チップ使用)			
4	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケアの基礎技術(消毒・ファイリング・キュティクルクリーム)			
5	4	ネ イ ル 理 論・実 習	理論小テスト・ネイルケア基礎技術(プッシャーの扱い方)			
6	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(キュティクルニッパーを持つ・ガーゼクリーン・ルースキュティクル除去)			
7	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)			
8	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)			
9	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)			
10	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)			
11	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(タイム35分)・カラーリング塗布			
12	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(タイム35分)・カラーリング塗布			
13	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング			
14	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング・ジェルアート			
15	4	ネ イ ル 理 論・実 習	ネイル理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
16	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
17	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
18	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
19	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
20	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
21	4	ネ イ ル 実 習	ジェルネイル(初級)試験に適應した技術テスト			
22	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
23	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
24	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
25	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
26	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
27	4	ネ イ ル 理 論・実 習	検定試験対策テスト・ジェルアート技術			
28	4	ネ イ ル 実 習	フラットアート・リペア技術			
29	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート			
30	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート			

2019年度

授 業 科 目	専門教育		メイク	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	千葉康弘・櫻井江利子	
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果			
2	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り			
3	4	ベ ー ス メ イ ク	ローショントーンング クリームトーンング アンダーベース コンシーラー			
4	4	ポ イ ン ト メ イ ク	ファンデーション ポイントメイク クレンジング			
5	4	ナ チ ュ ラ ル メ イ ク	ベースメイク アイメイク チーク リップ			
6	4	技 術 の 復 習	チェンジメイク アイブローペンシルの削り方			
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク			
8	4	バリエーションメイク	クールメイク			
9	4	バリエーションメイク	和装メイク			
10	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク			
11	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト 三善テスト			
12	4	実 技 試 験	ナチュラルメイク チェンジメイク			
13	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク			
14	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク			
15	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク			
16	4	特 殊 メ イ ク	マリリンモンローメイク			
17	4	特 殊 メ イ ク	オードリヘップバーンメイク			
18	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク			
19	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク			
20	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク			
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク			
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク			
23	4	エ ア ー ブ ラ シ	夕ウー（花）			
24	4	エ ア ー ブ ラ シ	夕ウー（蝶）			
25	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵(自主制作)			
26	4	まつ毛エクステンション	衛生			
27	4	まつ毛エクステンション	アンダーテープ			
28	4	まつ毛エクステンション	相モデル アンダーテープ			
29	4	まつ毛エクステンション	つけまつ毛に装着			
30	4	まつ毛エクステンション	つけまつ毛に装着			

授 業 科 目	関係法規			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	美容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度40%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	法 制 度 の 概 要	社会生活における法の役割、法の形式 衛生法規の概要、理容師法・美容師法と附属法令		
2	2	衛生行政の概要①	衛生行政の意義と歴史、分類と生活衛生行政の内容		
3	2	衛生行政の概要②	衛生行政を担う行政機関		
4	2	理容師法・美容師法 ①	目的、用語の定義 人(理容師・美容師)に関する規定(1)		
5	2	理容師法・美容師法 ②	人(理容師・美容師)に関する規定(2)		
6	2	理容師法・美容師法 ③	人(理容師・美容師)に関する規定(3)		
7	2	理容師法・美容師法 ④	人(理容師・美容師)に関する規定(4)		
8	2	理容師法・美容師法 ⑤	施設(理容所・美容所)に関する規定(1)		
9	2	理容師法・美容師法 ⑥	施設(理容所・美容所)に関する規定(2)		
10	2	理容師法・美容師法 ⑦	違反者等に対する行政処分 罰則		
11	2	関 連 法 規	理容業・美容業に関連する法律		
12	2	ま と め と 復 習 ①			
13	2	ま と め と 復 習 ②			
14	2	ま と め と 復 習 ③			
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

2019年度

授 業 科 目	衛生管理			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要	美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術(消毒法)に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	1. 美容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義美容業との関わりを認識する。 3. 美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物(ノート、小テスト)を評価する。 期末考査50%,授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	感染症各論(1)	主な感染症①		
2	2	感染症各論(2)	主な感染症② 具体的な対策の例 問題		
3	2	消毒法総論(1)	消毒の意味と意義		
4	2	消毒法総論(2)	理容・美容の業務と消毒との関係		
5	2	消毒法総論(3)	消毒法と適用上の注意 問題		
6	2	消毒法各論(1)	理学的消毒法 問題		
7	2	消毒法各論(2)	化学的消毒法①		
8	2	消毒法各論(3)	化学的消毒法② 問題		
9	2	消毒法実習(1)	消毒薬の濃度計算①		
10	2	消毒法実習(2)	消毒薬の濃度計算② 問題		
11	2	消毒法実習(3)	消毒法の選び方 問題		
12	2	理容所および美容所における衛生管理要領(1)	目的 施設及び設備 問題		
13	2	理容所および美容所における衛生管理要領(2)	管理① 問題		
14	2	理容所および美容所における衛生管理要領(3)	衛生的取扱い等 問題		
15	2	理容所および美容所における衛生管理要領(4)	消毒 問題 理・美容所の自主管理点検表 問題		
16	2	国家試験対策(1)	国家試験の過去の問題を解く		
17	2	国家試験対策(2)	国家試験の過去の問題を解く		
18	2	国家試験対策(3)	国家試験の過去の問題を解く		
19	2	国家試験対策(4)	国家試験の過去の問題を解く		
20	2	国家試験対策(5)	国家試験の過去の問題を解く		
21	2	国家試験対策(6)	国家試験の過去の問題を解く		
22	2	国家試験対策(7)	国家試験の過去の問題を解く		
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		



2019年度

授 業 科 目		保健			学科・学年	美容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1.3	担当者名	千葉啓子
授 業 の 概 要		一般的な皮膚科学や皮膚の保護、手入れ、皮膚疾患などについて基礎的な知識の習得。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)		皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品を使用する業務上の特徴から、皮膚や毛髪に関する「皮膚科学」の基礎を学ぶ。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法		期末試験と提出物(小テスト、ノート)、授業態度を評価する。 期末考査70%、提出物、授業態度30%。以上を総合的に考慮して評価し、60点を合格とする。				
授 業 計 画						
回	時 間	項 目	内 容			
1	2	皮 膚 の 構 造	皮膚の表面、皮膚断面・表皮・真皮、皮下組織			
2	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ①	毛			
3	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ②	脂腺			
4	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ③	汗腺・爪			
5	2	皮 膚 の 循 環 系 と 神 経	皮膚の血管・リンパ管・神経			
6	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ①	体外保護作用・体温調節			
7	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ②	分泌排泄作用・呼吸作用・吸収作用			
8	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ③	貯蔵作用・免疫・解毒・排除作用			
9	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ④	再生作用・毛のはたらき・			
10	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ①	皮膚と全身状態・皮膚と精神・皮膚と栄養・皮膚の嗜好品			
11	2	ま と め と 復 習	まとめと復習			
12	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ②	皮膚と体内病変・皮膚の水分と脂の状態			
13	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ③	皮膚・皮膚付属器官とホルモン・皮膚の保護と手入れ			
14	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ④	毛の保護と手入れ・皮膚のトラブル			
15	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 疾 患 ①	皮膚の異常とその種類・皮膚疾患の原因・皮膚疾患の治療			
16	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 疾 患 ②	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹・口唇の疾患・温熱・寒冷による病			

17	2	皮膚と皮膚付属器 官の疾患③	角化異状による皮膚疾患・色素異状による疾患
18	2	皮膚と皮膚付属器 官の疾患④	血管腫・脂腺母斑・下肢静脈瘤・分泌異状による皮膚疾患
19	2	皮膚と皮膚付属器 官の疾患⑤	化膿菌による皮膚疾患・皮膚疾患の予防・
20	2	まとめと復習①	まとめと復習
21	2	まとめと復習②	まとめと復習
22	2	まとめと復習③	まとめと復習
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

2019年度

授 業 科 目	香粧品化学			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要	美容師として極めて重要な意義をもつ「香粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・香粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・香粧品化学の知識・理解を深め理容・美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度、提出物(小テスト)を評価する。 期末考査50%、授業への関心態度20%、提出物30%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	1年時の復習	1年時の復習		
2	2	基礎香粧品	皮膚洗浄用香粧品 化粧水		
3	2	基礎香粧品	クリーム・乳液		
4	2	基礎香粧品	その他の基礎香粧品		
5	2	メイクアップ用香粧品	ベースメイクアップ用香粧品		
6	2	メイクアップ用香粧品	ポイントメイクアップ用香粧品		
7	2	頭皮・毛髪用(1)	シャンプー剤		
8	2	頭皮・毛髪用(2)	スタイリング剤		
9	2	頭皮・毛髪用(3)	パーマ剤①		
10	2	頭皮・毛髪用(4)	パーマ剤②		
11	2	頭皮・毛髪用(5)	ヘアカラー製品①		
12	2	頭皮・毛髪用(6)	ヘアカラー製品②・養毛剤		
13	2	芳香製品	芳香製品		
14	2	特殊香粧品	特殊香粧品		
15	2	まとめと復習			
16	2	期末考査	前期・後期各1時間		

2019年度

授 業 科 目	文化論			学科・学年	美容科	2年
開 講 期	通年	単位数	1	担当者名	北野史	
授 業 の 概 要	美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)	美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する					
評 価 方 法	毎回単元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をする。期末考査50%、プリント達成度30%、授業の関心度20%、総合評価とし60%以上で合格とする。					
回	時間	項 目	内 容			
1	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代I(1945～1950年)			
2	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代II(1960～1970年)			
3	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代III(1980～2000年以降)			
4	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	古代エジプト/古代ギリシャ・ローマ			
5	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	古代ゲルマン/中世ヨーロッパ			
6	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近世I(16世紀)			
7	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近世II(17世紀)			
8	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近世III(18世紀)			
9	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	近代I,II(18世紀末～19世紀)			
10	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代I,II(1910～1940)			
11	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代III,IV(1940～1960)			
12	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代V			
13	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 西 洋 編	現代VI			
14	2	礼 装 の 種 類	和装の礼装 洋装の礼装			
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間			

2019年度

授 業 科 目	運営管理			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	後期	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	理容業・美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度40%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	健康・安全な職場環境の実現	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康 特徴的な健康問題、作業環境に関する健康問題		
2	2	従業員としての視点から①	社会人としての責任 社会保険(1)		
3	2	従業員としての視点から②	社会保険(2) キャリアプラン		
4	2	顧客のために①	サービスデザイン		
5	2	顧客のために②	マーケティング		
6	2	顧客のために③	接客		
7	2	まとめと復習			
8	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

2019年度

授 業 科 目	美容理論			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通 年	単 位 数	2.5	担 当 者 名	櫻井江利子
授 業 の 概 要	美容の意義を十分に理解し、美容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師に必要な理論を身につける 国家試験合格レベルの理論の知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングとは		
2	2	ヘアセッティング	ヘアパーティング		
3	2	ヘアセッティング	ヘアシェーピング		
4	2	ヘアセッティング	ヘアカーリング		
5	2	ヘアセッティング	ヘアウェービング		
6	2	ヘアセッティング	ローラーカーリング		
7	2	ヘアセッティング	ブロードライ		
8	2	ヘアセッティング	アイロンセッティング		
9	2	ヘアセッティング	バックコーミング		
10	2	ヘアセッティング	アップスタイル ウィッグとヘアピース		
11	2	エステティック	エステティック概論 皮膚の生理と構造		
12	2	エステティック	カウンセリング 美容におけるマッサージ理論		
13	2	エステティック	フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ		
14	2	エステティック	フェイシャルケアパック ボディケア技術		
15	2	エステティック	ボディマッサージ 脱毛ケア技術		
16	2	メイクアップ	メイクアップ概論 顔の形態学的な観察		
17	2	メイクアップ	メイクアップと色彩 皮膚の生理と構造		
18	2	メイクアップ	メイクアップの道具 スキンケア ベースメイクアップ		
19	2	メイクアップ	アイメイクアップ アイブロウメイクアップ		
20	2	メイクアップ	リップメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ		
21	2	日 本 髪	日本髪の由来 日本髪の各部の名称 日本髪の種類と特徴		
22	2	日 本 髪	日本髪の調和 日本髪の装飾品 日本髪の結髪道具		
23	2	日 本 髪	日本髪の結髪技術 日本髪の手入れ かつら		
24	2	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装 着物と季節 着物のいろいろ 帯		
25	2	着付けの理論と技術	小物 着物各部の名称 着物のたたみ方 一般的要領		
26	2	着付けの理論と技術	留袖着付け技術男子礼装羽織、袴着付け技術 和装花嫁 様相花		
27	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策		
28	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策		
29	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策		
30	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策		
31	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策		
32	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策		

33	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
34	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
35	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
36	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
37	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

2019年度

授 業 科 目	美容実習			学科・学年	美容科	2年
開 講 期	通年	単位数	15	担当者名	櫻井 江利子	
授 業 の 概 要	美容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る					
教 育 目 標 ( ね ら い )	美容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を学ぶ					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
月	シャンプー	カット	ワインディング	セッティング	その他	備考
4	○	○	○	○		
5	○	○	○	○		
6	○	○	○	○		
7	○	○	○	○		
8	○	○	○	○		
9	○	○	○	○		
10	○	○	○	○		
11	○	○	○	○		
12	○	○	○	○		
1	○	○	○	○	○	メイク
2	○	○	○	○	○	着付け
3		○	○	○		
合計時数	70	78	148	148	6	



2019年度

授 業 科 目	一般教養	デッサン	学科・学年	美 容 科	2年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	大塚 敬
授 業 の 概 要	主に人物をモチーフにし、デッサンする能力を身に付けさせる				
教 育 目 標 (ねらい)	1.観察する能力、描く能力を身につける。 2.イメージする能力と自身の感性の幅を広げ、磨くことを通してデッサンの基礎を身につける。 3.理容師、美容師の専門的実技とデザインとの関連性への理解を深める				
評 価 方 法	授業への関心態度、作品の内容、提出物(クロッキー帳、小テスト)を評価する 授業への関心態度、50% 作品の内容30%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	デ ッ サ ン (1)	デッサンについて 鉛筆での表現、基礎		
2	3	デ ッ サ ン (2)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 今年度コンテスト作品		
3	3	デ ッ サ ン (3)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
4	3	デ ッ サ ン (4)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について		
5	3	デ ッ サ ン (5)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
6	3	デ ッ サ ン (6)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について 形と色の関連性		
7	3	デ ッ サ ン (7)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
8	3	デ ッ サ ン (8)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
9	3	デ ッ サ ン (9)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		
10	3	デ ッ サ ン (10)	人物を描く 頭部、顔の各部の形状について イラストボード作品 制作		

2019年度

授 業 科 目	一般教養	情報技術	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名	加藤 麗子
授 業 の 概 要	社会人として必要なビジネス文書作成・計算・インターネットを活用するための基礎知識を習得する。				
教 育 目 標 (ねらい)	1. 文書(社内・社外)作成の意味を理解し作成できる。 2. 計算式の利用するための基礎知識と、興味を持ち活用できる。 3. 理容・美容の就業に着いた際の、予約管理システムの基礎を経験する。インターネットの利活用ができる。				
評 価 方 法	授業への関心態度、提出物(小テスト)を評価する。 提出物(小テスト)40%、授業への関心態度60%、 60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	W o r d 基 礎	Typing(ホームポジション)・ショートカットキー・ビジネス文書		
2	3	W o r d 基 礎 E x c e l 基 礎	Typing(ホームポジション)・ビジネス文書復習・Excel(演算式・関数)		
3	3	E x c e l 基 礎	Typing(ホームポジション)・Excel(復習・相対参照・絶対参照・複合参照)		
4	3	美容室予約システム・Excel 基礎	Typing(ホームポジション)・レコサロ予約システム管理画面設定・Excel(復習・関数)		
5	3	美容室予約システム・Excel 基礎	Typing(ホームポジション)・レコサロ予約システム管理画面設定・Excel(復習・関数)		
6	3	E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Excel(関数・シートの操作)		
7	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
8	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
9	3	I n t e r n e t E x c e l 応 用	Typing(ホームポジション)・Internet(Mail・クラウド)・Excel(復習・関数・シートの操作)		
10	3	総 括	Typing(ホームポジション)		

2019年度

授 業 科 目	一般教養		パーソナルカラー		学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期 または 後期		単位数	1	担当者名	佐藤博美	
授 業 の 概 要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける						
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。						
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度40%、課題提出30%、試験30%とし、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の見える条件				
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度)				
3	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(彩度・清濁)				
4	3	基本の配色法	カラーコーディネート 基本の配色と感情効果				
5	3	パーソナルカラーの分類	パーソナルカラー・4シーズン分類 色彩調和				
6	3	基礎知識	試験による基礎知識の確認				
7	3	ま と め	パーソナルカラーのまとめ				
8	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法①				
9	3	色 の 活 用 法	パーソナルカラー・色彩効果の活用法②				
10	3	作 品 制 作	パーソナルカラーを基にした課題作成・提出				

2019年度

授 業 科 目	一般教養	フラワーアレンジメント	学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	1	担当者名 佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。			
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。			
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 每作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、平均点60点以上で合格とする。			
授 業 計 画				
回	時間	項 目	内 容	
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具の取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。	
2	3	実 技	②トライアングラー 花材説明(種類、産地、特徴)図解説明	
3	3	実 技	③ホリゾンタル ④母の日ラッピングアレンジ	
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展	
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。	
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。	
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク	
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ	
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。	
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想	

2019年度

授 業 科 目	一般教養	ジェルネイル	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る		
2	3	フ ラ ッ ト ア ー ト	アクリル絵の具を用いてのアート		
3	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル		
4	3	リ ペ ア 技 術	リペア・チップラップなど爪の補強技術 相モデル		
5	3	エ ン ボ ス ア ー ト	エンボスアート		
6	3	3 D ア ー ト	動物製作		
7	3	3 D ア ー ト	グラデーション・フレンチ技術		
8	3	中 級 技 術	アート技術を組み合わせての作品製作		
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		
10	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		

2019年度

授 業 科 目	専門教育	フォト&カット		学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	三浦浩代・菊地恵美	
授 業 の 概 要	ベーシックカット、デザインカットの知識 フォトコン作品作り、及びフォトテクニックを学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)	基礎知識を習得する。 身につけた技能をサロンワークに活用できるようにする。					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習			
2	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習			
3	4	実 習 準 備	フォトコンテストに向けスタイル画作成、メイク、小物準備について			
4	4	実 習 準 備	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
5	4	ワ ン レ ン グ ス	ワンレングス復習、ブロー			
6	4	グラデーションボブ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
7	4	グラデーションボブ	グラデーションボブの復習、ブロー			
8	4	マッシュルームカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
9	4	マッシュルームカット	マッシュルームカット復習、ブロー			
10	4	レ イ ヤ ー	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
11	4	レ イ ヤ ー	レイヤーカット復習、ブロー			
12	4	2セクションカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ			
13	4	2セクションカット	2セクションカット復習、ブロー			
14	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット			
15	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ			
16	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法			
17	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法			
18	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習			
19	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習			
20	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ			
21	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ			
22	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う			
23	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う			
24	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う			
25	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する			
26	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する			
27	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向けた、準備、作業工程、結果のまとめ			
28	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の5パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ			
29	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の6パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ			
30	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の7パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ			

2019年度

授 業 科 目	専門教育 アップ			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	櫻井 江利子
授 業 の 概 要	美容師として必須のアップ技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	基本的な編み込から日本髪までアップの知識や技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的		
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方		
3	4	編 み 込 み	三つ編み(表・裏) 四つ編み(丸・平)		
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)		
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)		
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)		
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル		
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン		
9	4	編み込みスタイル	かご編み		
10	4	ハーフスタイル	ハーフアップ すき毛の作り方		
11	4	ハーフスタイル	ハーフアップ		
12	4	ハーフスタイル	ハーフアップ		
13	4	ハーフスタイル	ハーフアップ		
14	4	ハーフスタイル	ハーフアップ		
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル		
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル		
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会		
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック		
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ		
26	4	日 本 髪	日本髪の練習		
27	4	日 本 髪	日本髪の練習		
28	4	日 本 髪	日本髪の練習		
29	4	日 本 髪	日本髪の練習		
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト		

2019年度

授 業 科 目	専門教育		カラーリング	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期	または 後期	単位数	4	担当者名	白畑亨・川村こずえ
授 業 の 概 要	美容師として必須のカラーリング技術を基本から応用まで学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)	カラーリングの基礎技術を学び、薬剤の知識を身につけることにより、就職後のサロンワークに役立つ技術を身につける					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	実 習 準 備	ウィッグカット			
2	4	実 習 準 備	ウィッグカット			
3	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術			
4	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術			
5	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術			
6	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術			
7	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
8	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
9	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
10	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
11	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
12	4	デモンストレーション	美容師を取り巻く環境について、リアルサロンワークデモ			
13	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
14	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
15	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
16	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
17	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
18	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
19	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
20	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
21	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
22	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング			
23	4	カウンセリング	相モデルカラーリング準備			
24	4	カウンセリング	相モデルカラーリング準備			
25	4	相モデル技術	相モデルカラーリング			
26	4	相モデル技術	相モデルカラーリング			
27	4	相モデル技術	相モデルカラーリング			
28	4	グループワーク	サロンの現場で起こるトラブルシューティング			
29	4	グループワーク	サロントラブルの応用及び検証			
30	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング			



2019年度

授 業 科 目		専門教育		エステ	学科・学年	美容科 2年
開 講 期		前期 または 後期	単位数	4	担当者名	岡田聡江
授 業 の 概 要		エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる(ソワンエステ)について理解する				
教 育 目 標 (ねらい)		エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける				
評 価 方 法		実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	chapter 1 . 2	エステティックとは・生命活動とホメオスタシス			
2	4	chapter 3	身体のしくみと働き I			
3	4	chapter 4 . 5	身体のしくみと働き II・皮膚の仕組みと働き I ①			
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働き I ②			
5	4	chapter 7 . 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き			
6	4	chapter 9 . 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒			
7	4	chapter 11 . 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識			
8	4	chapter 13. エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備・			
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマトール・ウツランブ・アロミスト・ヴァックスプレイ①			
10	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマトール・ウツランブ・アロミスト・ヴァックスプレイ②			
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマトール・アロミスト・ヴァックスプレイ・パター・仕上げ①			
12	4	フェイシャルトリートメント	フリマトール・アロミスト・ヴァックスプレイ・パター・仕上げ②			
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①			
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②			
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ①			
16	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ②			
17	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①			
18	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント②			
19	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①			
20	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②			
21	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ③			
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌			
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌			
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌			
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌			
26	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌			
27	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌			
28	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ			
29	4	フェイシャルトリートメント	ボディマッサージ			
30	4	フェイシャルトリートメント	ボディトリートメント			

2019年度

授 業 科 目	専門教育		着付け	学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期 または 後期	単位数	4	担当者名	生島 雅世子 丹野 益美 鈴木 久美子
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖(二重太鼓)、中振袖(ふくら雀・文庫・立矢)、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳(掛下・打掛)の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	着付け総論(理論)	着物および着付けについての基礎的知識の講義		
2	4	着付け総論(理論)	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義		
3	4	着付け総論(理論)	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義		
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方		
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め・の締め方、帯(文庫)の結び方		
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め・の締め方、帯(文庫)の結び方		
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め・の締め方、帯(文庫)の結び方		
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習(全体のバランスや審査項目のチェック)		
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め・の締め方		
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め・の締め方		
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び(二重太鼓)、帯締め、帯揚げの締め方		
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス		
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス		
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス		
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト		
16	4	留 袖 実 技 テ ス ト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック(襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和)		
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け		
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、ふくら雀		
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習		
20	4	SBS技能検定4級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験(浴衣)21分		
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、ふくら雀、全体のバランス		
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、ふくら雀、全体のバランス		
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、文庫結び(星雲)、全体のバランス		
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、立矢結び(末広)、全体のバランス		
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト		
26	4	中 振 袖 実 技 テ ス ト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック(襟・裾合わせ、ふくら雀の調和)		
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス		
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス		
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け(掛下帯・抱え帯・小物など)		
30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い		

2019年度

授 業 科 目	専門教育		ネイル	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	遠藤淳子・山内とし子	
授 業 の 概 要	ネイルの基本技術と基礎知識を学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)	ジェルネイル検定(初級)取得に向けて、ネイル基礎技術と基礎知識を身に付ける					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	実 習 準 備	ネイル実習に入るための用具・用材の準備			
2	4	ネ イ ル 基 礎 理 論	ネイルの歴史・爪の構造			
3	4	ネ イ ル 実 習	テーブルセッティング・爪の形・ファイリング(チップ使用)			
4	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケアの基礎技術(消毒・ファイリング・キュティクルクリーム)			
5	4	ネ イ ル 理 論・実 習	理論小テスト・ネイルケア基礎技術(プッシャーの扱い方)			
6	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(キュティクルニッパーを持つ・ガーゼクリーン・ルースキュティクル除去)			
7	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)			
8	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)			
9	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)			
10	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)			
11	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(タイム35分)・カラーリング塗布			
12	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(タイム35分)・カラーリング塗布			
13	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング			
14	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング・ジェルアート			
15	4	ネ イ ル 理 論・実 習	ネイル理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
16	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
17	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
18	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
19	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
20	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート			
21	4	ネ イ ル 実 習	ジェルネイル(初級)試験に適應した技術テスト			
22	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
23	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
24	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
25	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
26	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)			
27	4	ネ イ ル 理 論・実 習	検定試験対策テスト・ジェルアート技術			
28	4	ネ イ ル 実 習	フラットアート・リペア技術			
29	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート			
30	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート			

2019年度

授 業 科 目	専門教育		メイク	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	後期		単位数	4	担当者名	千葉康弘・櫻井江利子
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果			
2	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り			
3	4	ベ ー ス メ イ ク	ローショントーンング クリームトーンング アンダーベース コンシーラー			
4	4	ポ イ ン ト メ イ ク	ファンデーション ポイントメイク クレンジング			
5	4	ナ チ ュ ラ ル メ イ ク	ベースメイク アイメイク チーク リップ			
6	4	技 術 の 復 習	チェンジメイク アイブローペンシルの削り方			
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク			
8	4	バリエーションメイク	クールメイク			
9	4	バリエーションメイク	和装メイク			
10	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク			
11	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト 三善テスト			
12	4	実 技 試 験	ナチュラルメイク チェンジメイク			
13	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク			
14	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク			
15	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク			
16	4	特 殊 メ イ ク	マリリンモンローメイク			
17	4	特 殊 メ イ ク	オードリヘップバーンメイク			
18	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク			
19	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク			
20	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク			
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク			
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク			
23	4	エ ア ー ブ ラ シ	夕ウー（花）			
24	4	エ ア ー ブ ラ シ	夕ウー（蝶）			
25	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵(自主制作)			
26	4	まつ毛エクステンション	衛生			
27	4	まつ毛エクステンション	アンダーテープ			
28	4	まつ毛エクステンション	相モデル アンダーテープ			
29	4	まつ毛エクステンション	つけまつ毛に装着			
30	4	まつ毛エクステンション	つけまつ毛に装着			

2019年度

授 業 科 目	美容理論			学科・学年	美容科 理容修得者
開 講 期	通年	単位数	4	担当者名	川村こずえ
授 業 の 概 要	美容の意義を十分に理解し、美容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師に必要な理論を身につける 国家試験合格レベルの理論の知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と技術		
2	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容技術における作業姿勢と人体各部の名称		
3	2	美 容 用 具	美容の道具		
4	2	美 容 用 具	美容の器具		
5	2	美 容 用 具	美容の機械		
6	2	美 容 用 具	美容の用具の種類と取り扱い		
7	2	シ ャ ン プ ー	シャンプー総論		
8	2	シ ャ ン プ ー	サイドシャンプー		
9	2	シ ャ ン プ ー	バックシャンプー		
10	2	シ ャ ン プ ー	リンス・コンディショナー		
11	2	シ ャ ン プ ー	トリートメント		
12	2	シ ャ ン プ ー	ヘットスパ		
13	2	ヘ ア デ ザ イン	美容とデザイン		
14	2	ヘ ア デ ザ イン	錯覚現象を美容に生かそう		
15	2	ヘ ア デ ザ イン	デザインの要素		
16	2	ヘ ア デ ザ イン	デザインの要素原理①		
17	2	ヘ ア デ ザ イン	デザインの要素原理②		
18	2	ヘアカット	ヘアカットとは		
19	2	ヘアカット	シザーズとレザーの取り扱い・美容刃物		
20	2	ヘアカット	ヘアカットの正しい姿勢・ブロッキング		
21	2	ヘアカット	ヘアカットの基礎理論・ベーシックなカット		
22	2	ヘアカット	シザーズによるカット技法		
23	2	ヘアカット	レザーによるカット技法		
24	2	パーマ	パーマの歴史		
25	2	パーマ	パーマの理論・パーマ剤の分類		
26	2	パーマ	パーマ剤に関する注意事項		
27	2	パーマ	パーマ技術		
28	2	パーマ	ワインディングのバリエーション		
29	2	パーマ	縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)		

30	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングとは
31	2	ヘアセッティング	ヘアパーティング
32	2	ヘアセッティング	ヘアシェーピング
33	2	ヘアセッティング	ヘアカーリング
34	2	ヘアセッティング	ヘアウェービング
35	2	ヘアセッティング	ローラーカーリング
36	2	ヘアセッティング	ブロードライ
37	2	ヘアセッティング	アイロンセッティング
38	2	ヘアセッティング	バックコーミング
39	2	ヘアセッティング	アップスタイル ウィッグとヘアピース
40	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論・ヘアカラーの種類
41	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーのタイプ別特徴・染毛のメカニズム
42	2	ヘアカラーリング	色の基本・毛髪のレベルとアンダートーン
43	2	ヘアカラーリング	パッチテスト・染毛剤使用時の注意・ヘアカラーリングの道具
44	2	ヘアカラーリング	酸化染毛剤、染毛料の技術手順・ヘアブリーチ
45	2	エステティック	エステティック概論 皮膚の生理と構造
46	2	エステティック	カウンセリング 美容におけるマッサージ理論
47	2	エステティック	フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ
48	2	エステティック	フェイシャルケアパック ボディケア技術
49	2	エステティック	ボディマッサージ 脱毛ケア技術
50	2	メイクアップ	メイクアップ概論 顔の形態学的な観察
51	2	メイクアップ	メイクアップと色彩 皮膚の生理と構造
52	2	メイクアップ	メイクアップの道具 スキンケア ベースメイクアップ
53	2	メイクアップ	アイメイクアップ アイブロウメイクアップ
54	2	メイクアップ	リップメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ
55	2	日本髪	日本髪の由来 日本髪の各部の名称 日本髪の種類と特徴
56	2	日本髪	日本髪の調和 日本髪の装飾品 日本髪の結髪道具
57	2	日本髪	日本髪の結髪技術 日本髪の手入れ かつら
58	2	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装 着物と季節 着物のいろいろ 帯
59	2	着付けの理論と技術	小物 着物各部の名称 着物のたたみ方 一般的要領
60	2	期末考査	前期・後期各1時間

2019年度

授 業 科 目	美容実習			学科・学年	美容科	理容修得者
開 講 期	通年	単位数	23	担当者名	川村こずえ	
授 業 の 概 要	美容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る					
教 育 目 標 ( ね ら い )	美容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を学ぶ					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
月	シャンプー	カット	ワインディング	セッティング	その他	備考
4	○	○	○	○		
5	○	○	○	○		
6	○	○	○	○		
7	○	○	○	○		
8	○	○	○	○		
9	○	○	○	○		
10	○	○	○	○		
11	○	○	○	○		
12	○	○	○	○		
1	○	○	○	○	○	ヘアカラーリング、着付け
2	○	○	○	○	○	ネイル、メイク
3		○	○	○		
合計時数	140	160	142	148	100	

2019年度

授 業 科 目	専門教育		アップ		学科・学年	美容科	理容修得者
開 講 期	前期		単位数	4	担当者名	櫻井 江利子	
授 業 の 概 要	美容師として必須のアップ技術を基本から応用まで学ぶ						
教 育 目 標 (ねらい)	基本的な編み込から日本髪までアップの知識や技術を身につける						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的				
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方				
3	4	編 み 込 み	三つ編み(表・裏) 四つ編み(丸・平)				
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)				
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)				
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)				
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル				
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン				
9	4	編み込みスタイル	かご編み				
10	4	ハーフスタイル	ハーフアップ すき毛の作り方				
11	4	ハーフスタイル	ハーフアップ				
12	4	ハーフスタイル	ハーフアップ				
13	4	ハーフスタイル	ハーフアップ				
14	4	ハーフスタイル	ハーフアップ				
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル				
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル				
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会				
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会				
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会				
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン				
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン				
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック				
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル				
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル				
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ				
26	4	日 本 髪	日本髪の練習				
27	4	日 本 髪	日本髪の練習				
28	4	日 本 髪	日本髪の練習				
29	4	日 本 髪	日本髪の練習				
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト				



## 2019年度

授 業 科 目	専門教育		着付け	学科・学年	美容科 理容修得者
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	生島 雅世子 丹野 益美 鈴木 久美子
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖(二重太鼓)、中振袖(ふくら雀・文庫・立矢)、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳(掛下・打掛)の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	着付け総論(理論)	着物および着付けについての基礎的知識の講義		
2	4	着付け総論(理論)	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義		
3	4	着付け総論(理論)	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義		
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕		
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め・の締め方、帯(文庫)の		
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め・の締め方、帯(文庫)の		
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め・の締め方、帯(文庫)の		
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習(全体のバランスや審査項目のチェッ		
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め・の		
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め・の		
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び(二重太鼓)、帯締め、帯揚げの締め方		
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス		
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス		
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス		
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト		
16	4	留 袖 実 技 テ ス ト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック(襟・裾合わせ・体型とお太鼓の		
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付		
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、ふくら		
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習		
20	4	SBS技能検定4級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験(浴衣)21分		
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、ふくら雀、全体のバラ		
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、ふくら雀、全体のバラ		
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、文庫結び(星雲)、全体のバ		
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め・の締め方、立矢結び(末広)、全体のバ		
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト		
26	4	中 振 袖 実 技 テ ス ト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック(襟・裾合わせ、ふくら雀の調		
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス		
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス		
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け(掛下帯・抱え帯・小物など		
30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い		